

令和7年度 教育要覧

深谷市の教育



深谷市教育委員会



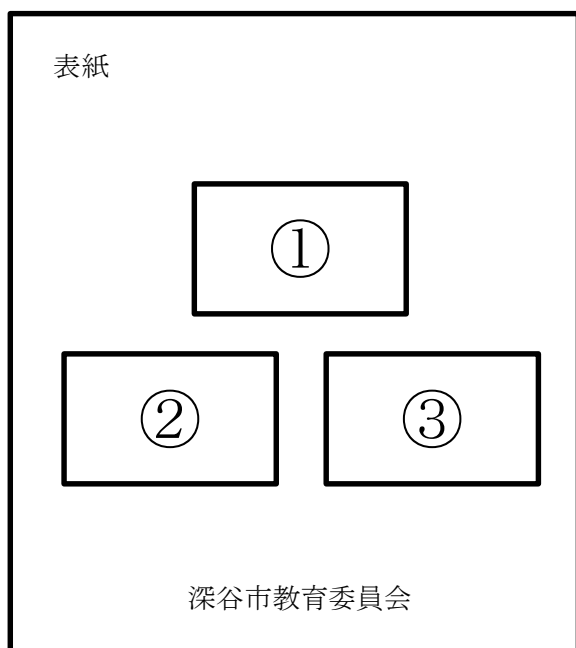
[表紙の説明]

<新一万円札>

令和6年7月3日に、渋沢栄一翁が肖像に選ばれた新一万円札が発行されました。財務省は、渋沢栄一翁が新一万円札の肖像に選ばれた理由として、「傑出した業績を残し、新たな産業の育成といった面からも日本の近代化をリードして、大きく貢献した」という点を挙げています。新一万円札の裏面には、深谷産の煉瓦が使用されている東京駅（丸の内駅舎）の図柄が描かれており、高精細のすき入れ模様や最先端技術によるホログラムが施されています。

新一万円札発行記念として、各学校では「新一万円札発行を祝う会」や「くす玉開き」を行い、「立志と忠恕の深谷教育」の根底となる渋沢栄一翁が肖像画に選ばれた新一万円札発行の瞬間を盛大にお祝いしました。

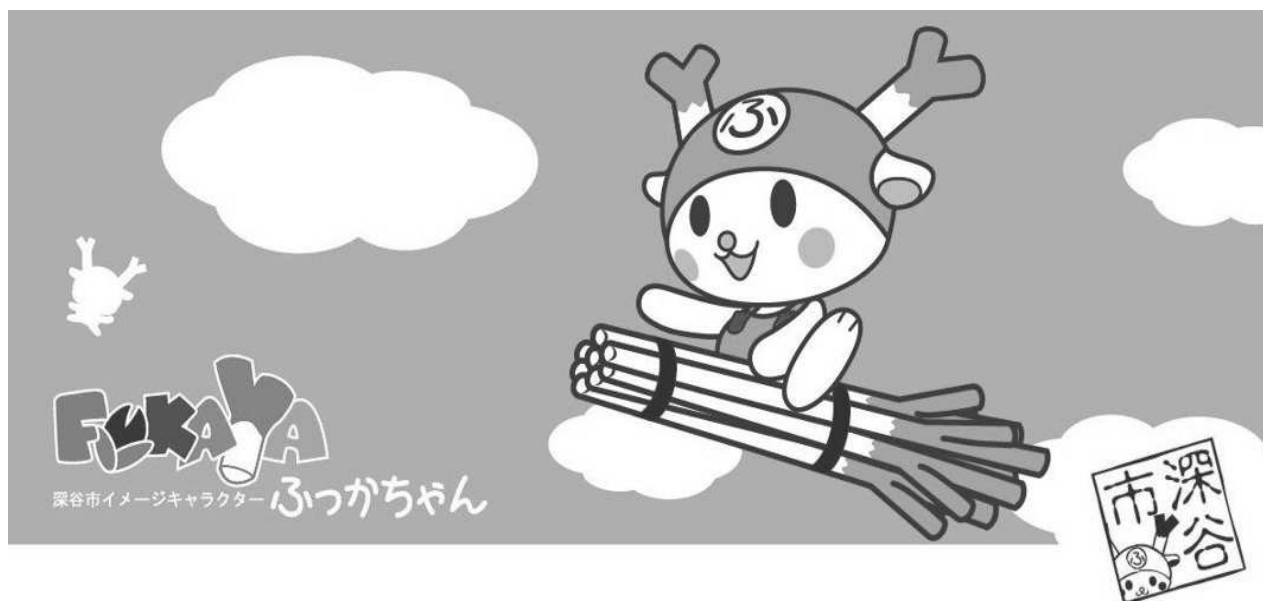
今後も「立志と忠恕の深谷教育プラン（深谷市教育振興基本計画）」を推進し、これまでも増して、子供達の夢の実現を後押ししてまいります。



- ①新一万円札をモチーフにしたロゴマーク
- ②新一万円札発行を祝う会写真
- ③くす玉開きイベントの写真

目 次

深谷市の概況	1	4. 進路.....	30
深谷市教育委員会教育長及び委員	2	5. 深谷市立教育研究所紹介	31
I 教 育 行 財 政	3～21	6. 小学校・中学校紹介	34
1. 深谷市が目指す教育の姿	3	7. 幼稚園教育	44
令和7年度深谷市教育委員会重点施策	8	8. 幼稚園紹介	45
2. 組織及び事務分掌	18	III 社 会 教 育	48～67
3. 事務局及び教育機関職員数	19	1. 深谷市の社会教育の概要	48
4. 令和7年度一般会計予算、教育費（歳出）	19	2. 重点施策	48
5. 令和7年度教育費内訳、財源内訳（当初予算）	19	3. 公民館・文化会館・渋沢栄一記念館紹介	51
6. 教育費（当初予算）	20	4. 令和7年度推進事業一覧	59
7. 児童生徒1人当たりの教育費（当初予算）	20	5. 重要文化財など.....	62
8. 就学援助状況（令和6年度実績）	20	6. 深谷市内所在文化財など件数一覧	67
9. 学校給食の状況	21	IV 図 書 館	68～73
II 学 校 教 育	22～47	1. 施設の概要	68
1. 重点施策.....	22	2. 図書館運営の基本方針	69
2. 児童・生徒・教職員数の推移	27	3. 業務の概要	69
深谷市学校教育グランドデザイン	28	4. 分類別蔵書数	72
3. 学校保健.....	29	5. 令和6年度利用状況	72
		V 社 会 体 育	73～78
		1. 社会体育の概要.....	73
		2. 重点施策	73
		3. 令和7年度社会体育関係事業	74
		4. 社会体育施設の概要	75



深谷市の概況



(1) 位置と地勢

平成18年1月1日、深谷市、岡部町、川本町、花園町がひとつになり誕生した「深谷市」は、埼玉県北西部に位置し東京都心から70km圏にあり、東は熊谷市に、南は嵐山町、寄居町に、西は美里町、本庄市に、北は群馬県の伊勢崎市、太田市に接しています。北部は利根川水系の低地で、南部は秩父山地から流れ出た荒川が扇状台地を形成する平坦な地形となっています。

交通の面では、関越自動車道、国道17号・同深谷バイパス・上武国道、国道140号・同バイパス、国道254号などがあり、広域間の基幹的役割を果たす道路として機能しています。また、地域の玄関口として関越自動車道花園インターチェンジが設置されているほか、嵐山小川、本庄児玉のインターチェンジに近接しています。また、鉄道はJR高崎線、秩父鉄道の2路線において駅を有するとともに、上越新幹線及びJR八高線が通過し、上越新幹線本庄早稲田駅にも近接していることから、東京都心方面、上信越方面、秩父方面への交通の要衝となっています。



(2) 人口と面積

令和7年4月1日現在

人 口 (男・女) (人)	世帯数(世帯)	面積(k㎡)	人口密度 (人/k㎡)
140,418 (男 70,233 女 70,185)	63,965	138.41	1,015

深谷市教育委員会教育長及び委員

教育委員会は、合議制の執行機関で教育長及び4人の委員で構成されています。

教育長及び委員は、市議会の同意を得て、市長から任命されます。教育長の任期は3年で再任することができます。教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。委員の任期は4年で、教育行政の安定を図るため、毎年1人ずつ改任（又は再任）されます。



教 育 長 片 桐 雅 之



教 育 長 荒 井 泉
職務代理者



委 員 久保田 みずき



委 員 寺 山 智 久



委 員 栗 原 孝 子

令和7年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	片 桐 雅 之	令和 6 年4月1日～令和 9 年3月 31 日
教 育 長 職務代理者	荒 井 泉	令和 4 年4月1日～令和 8 年3月 31 日
委 員	久保田 みずき	令和 5 年4月1日～令和 9 年3月 31 日
委 員	寺 山 智 久	令和 6 年4月1日～令和 10 年3月 31 日
委 員	栗 原 孝 子	令和 7 年4月1日～令和 11 年3月 31 日

I 教育行財政

1. 深谷市が目指す教育の姿（第3期深谷市教育振興基本計画より）

（1）基本理念

立志と忠恕の深谷教育 ～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～

本市の教育の基本理念は、郷土の偉人・渋沢栄一の生涯を貫いた精神を基にした、
りっし ちゅうじょ
「立志と忠恕の深谷教育」です。

教育基本法では第1条において、教育の目的として、「人格の完成」と「平和な国家及び社会の形成者として、心身ともに健康な国民の育成」を規定しています。

渋沢栄一は、志を立てることは人生の大切な出発点であると考えていました。この志を実現するためには、生涯を通じて知・徳・体の調和のとれた学びを続け、「生きる力」を身に付けることが重要であり、そのことが「人格の完成」に近づくものであると考えます。

また、「平和な国家及び社会の形成者」であるためには、他者に対して真心と思いやりをもって接することが大切です。これは渋沢栄一が処世の方針とした忠恕の考えと一致するものです。忠恕の心を育むためには、多様な個性を持つ人々と支え合い、同じ目標に向かって協働し、文化芸術に触れ、豊かな情操を養う必要があると考えます。

このように、教育基本法の教育の目的を達成するため、渋沢栄一が生涯を通じて大切にしていた立志と忠恕を本市の教育の基本理念として掲げていきます。第3期深谷市教育振興基本計画では、第1期計画及び第2期計画に引き続き、この基本理念を出発点とし、基本目標を踏まえて具体的な各施策を展開していきます。

(2) 3つの視点

(1)の基本理念である「立志と忠恕の深谷教育」の実現に向け、第3期計画全体を通して次の3つの視点に留意して、教育行政を推進していきます。

夢・志と生きる力

少子高齢化・グローバル化・情報化といった社会の変化や災害等のリスクに的確に対応するとともに、全ての子供たちが夢や志を抱き、持てる可能性を最大限に引き出せるよう個別最適な学びと協働的な学びを実践し、家庭や地域との協働による生きる力を育む教育を推進します。

共生と支え合い

性別、年齢、障害の有無等に関わらず、誰もが社会の担い手として活躍できる社会を実現するため、お互いを尊重し、連携・協働する意識を高めながら個性や能力を輝かせていく教育を推進します。

生涯の学びと活躍

伝統や文化に育まれた学びを継承し、全ての人の可能性や個性を最大限に引き出すことにより、一人一人が自己肯定感を高めながら生涯にわたって活躍できる社会を目指します。

(3) 基本目標

(1) の基本理念を踏まえ、今後 5 年間に取り組む教育施策の 7 つの基本目標を示します。

I 確かな学力と自立する力の育成

関連するSDGsのゴール



子供たちの生きる力の育成に向けて、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養います。

また、ふるさと深谷の伝統と文化を尊重し、グローバル化を見据えた教育や ICT とこれまでの教育実践のよさを生かした個別最適な学びと協働的な学びを行うことで誰一人取り残さない教育を推進します。

II 豊かな心と健やかな体の育成

関連するSDGsのゴール

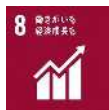


子供たちの豊かな心を育むため、体験活動を充実させるとともに、道徳教育、人権教育を推進します。また、いじめ、不登校、非行・問題行動の未然防止、及び発生時における速やかな対応を図るため、家庭との緊密な連携を図った生徒指導体制を充実させていきます。

さらに、新型コロナウイルス感染症が収束しない中、家庭や地域と連携した学校保健活動の充実や食育の推進などにより健康の保持増進を図るとともに、体力向上に向け、一人一人の目標に即したきめ細かい指導を実践し、健やかな体を育成します。

Ⅲ 地域に信頼される学校教育の推進

関連するSDGsのゴール



教職員研修の充実や効果的な指導技術の共有化などにより、若手からベテランまで、全ての教職員の資質・能力を向上させるとともに、ICT機器の活用等による業務の効率化を進め、教職員の働き方改革の推進を図ります。併せて、学校・家庭・地域の協働による学校運営協議会を活用し、学校組織運営及び危機管理体制の改善・充実を図るとともに、地域と一体となって交通安全・防災に関する意識を啓発することにより、学校安全体制の整備を進めます。

また、学習環境の整備・充実などにより、一人一人の個性と能力を育む質の高い学校教育を推進します。

Ⅳ 家庭・地域・学校の連携による教育力の向上

関連するSDGsのゴール



次代の社会を担う全ての子供が、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人として等しく健やかに成長することができるよう、自立心・自己肯定感の育成や心身の調和のとれた発達に向けた家庭教育支援を充実していきます。

また、地域学校協働活動推進員の配置や学校応援団活動の充実などにより、家庭・地域・学校がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、相互に手を取り合い、地域総がかりで子供たちの育成に取り組むことで、教育力の更なる向上を目指します。

V 生涯学習の推進

関連するSDGsのゴール



多様化する市民の学習ニーズに対応するため、講座・教室などの更なる充実を図るとともに、学習情報の提供、指導者の育成・確保、企業等の専門的知識・技術を活用した講座の開催など、生涯学習を推進する体制を整えます。そして、そこで得た成果を地域に還元したり、次の世代に伝えたりするなど、循環型の学びを充実させ、生涯学習と社会参画の環境づくりを推進します。

また、市民が気軽に主体的かつ継続的に生涯学習活動に取り組めるよう、公民館や図書館などの生涯学習施設の利用環境を整備し、学習活動及び地域コミュニティの拠点としての機能の充実を図ります。

VI スポーツ・レクリエーションの推進

関連するSDGsのゴール



誰もがそれぞれの特性・目的やライフステージに応じて気軽にスポーツ・レクリエーションに取り組めるよう、市内の体育施設（体育館・グラウンド）の環境を整備します。

また、イベントなどに関する積極的な情報提供や指導者の育成・確保などの体制を整備するとともに、各団体やスポーツ推進委員＊を核に、生涯を通じて健康の維持・増進や仲間づくりに寄与するスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

VII 郷土の歴史・文化の継承と活用

関連するSDGsのゴール



郷土の歴史的遺産や伝統文化の保存・活用を図るとともに渋沢栄一*翁や畠山重忠公をはじめとする郷土の偉人とその業績を顕彰し、次世代に伝えていき、郷土の魅力の効果的な発信により地域の持続的な維持発展に向けた好循環を創出します。

また、市民が心豊かな生活を送れるよう、文化・芸術活動の活性化を図り、文化の発展を目指します。

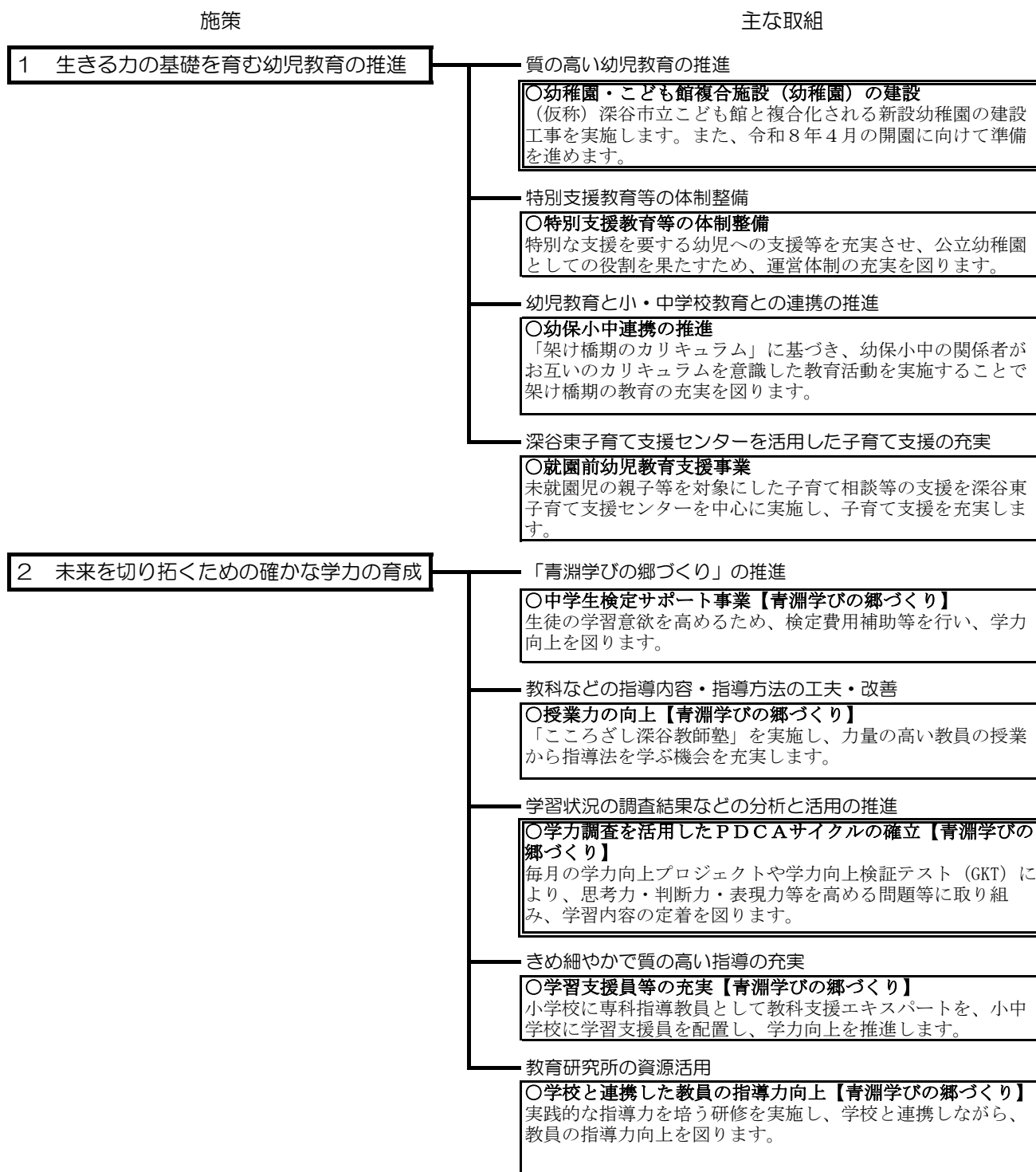
(4) 令和7年度深谷市教育委員会重点施策

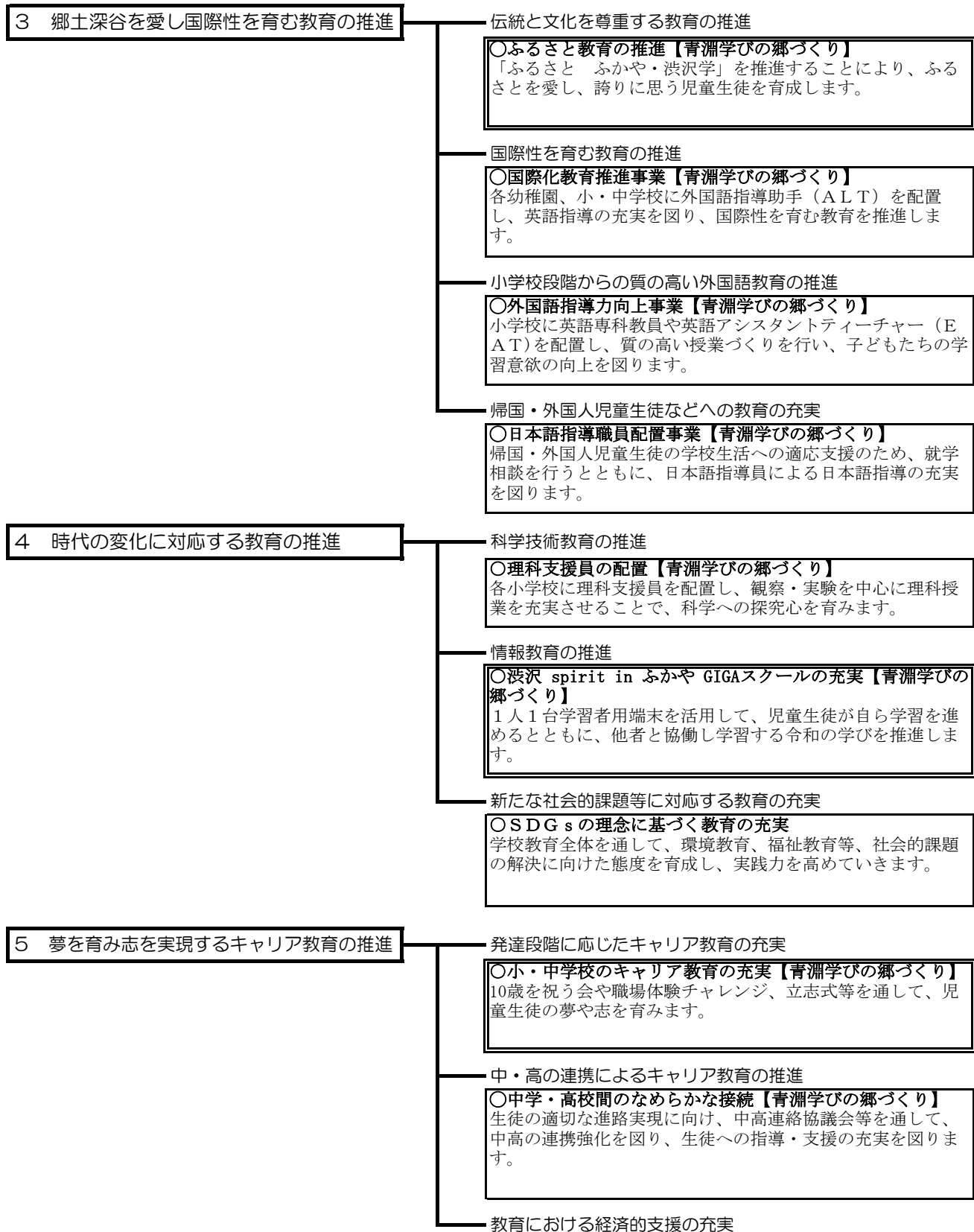
教育委員会重点施策は、深谷市教育振興基本計画の実効性をより高めるため、年度ごとの重点的な取り組みを明らかにしたもので、毎年、年度初めにその取組内容を公表しています。教育委員会では、関係機関、各種団体等と連携を図るとともに、広く市民の理解と協力を得ながら、積極的に取り組んでいます。

次ページ以降では、「令和7年度深谷市教育委員会重点施策」を第3期教育振興基本計画の施策体系とともに紹介します。

第3期深谷市教育振興基本計画 施策体系

I 確かな学力と自立する力の育成





6 多様なニーズに応じた特別支援教育の推進

特別支援教育体制の充実

○児童生徒一人一人の教育的ニーズに合わせた支援の充実【青淵学びの郷づくり】
教育と福祉の連携を生かし、教育的ニーズに応じた学びの場の充実に向け、学習環境の整備を図ります

就学支援・相談の充実

○早期からの就学支援・就学相談の充実【青淵学びの郷づくり】
教育研究所を核として、幼・保・小中学校におけるなめらかな接続と関係機関の連携を推進し、早期からの就学支援・就学相談の充実を図ります。

特別支援教育の視点に立った指導の充実

○発達支援アドバイザーによる支援と支援籍学習の推進【青淵学びの郷づくり】
発達支援アドバイザーの配置や特別支援学校で必要な指導が可能となる支援籍学習を積極的に推進し、教育的ニーズに応じた支援の充実を図ります。

※【青淵学びの郷づくり】は、渋沢栄一翁の心を受け継ぐ事業の総称です。

II 豊かな心と健やかな体の育成

施策

主な取組

1 まごころと思いやりを育む教育の推進

道徳教育の充実

○渋沢栄一翁こころざし読本の活用【青淵学びの郷づくり】
「渋沢栄一翁こころざし読本」の改訂を進めるとともに、「ふるさと先生」を各校に派遣して、ふるさとを愛し、誇りに思う児童生徒を育成します。

深谷の子「6つの誓い」の推進

○深谷の子「6つの誓い」の推進【青淵学びの郷づくり】
各校における深谷の子「6つの誓い」の実践により、子供たちの学習習慣・生活習慣の形成を支援します。

読書活動の推進

○子供読書活動の推進
「ふかや ふれあい 必読書50」を活用し、子供たちがよい本に触れる機会を設け、読書活動を推進します。

2 いじめ・不登校の防止

いじめ対策の推進

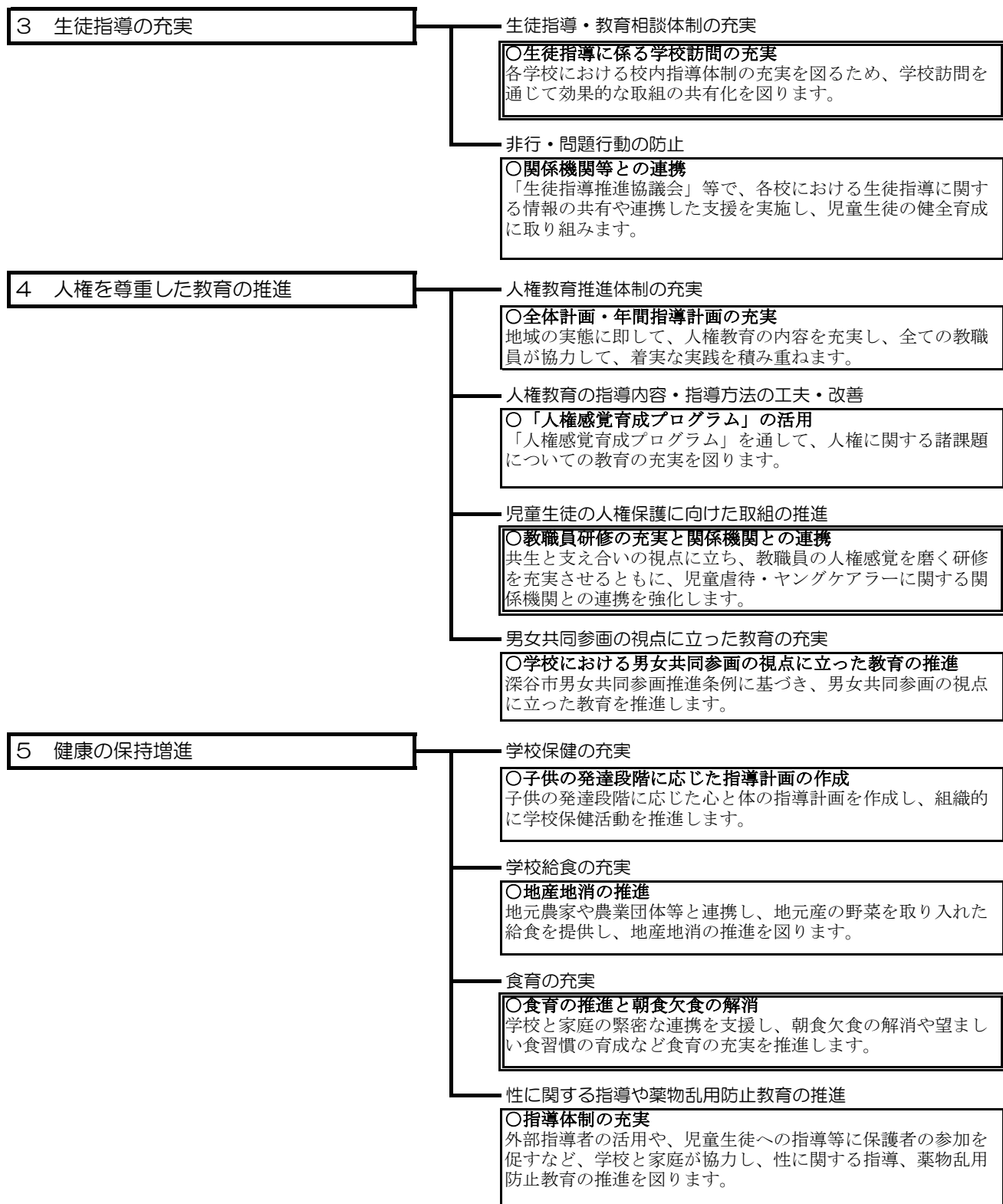
○いじめ防止基本方針に基づく関係会議の充実
学校・関係機関などが一体となり、深谷市全体でいじめ問題解消への取組を推進します。

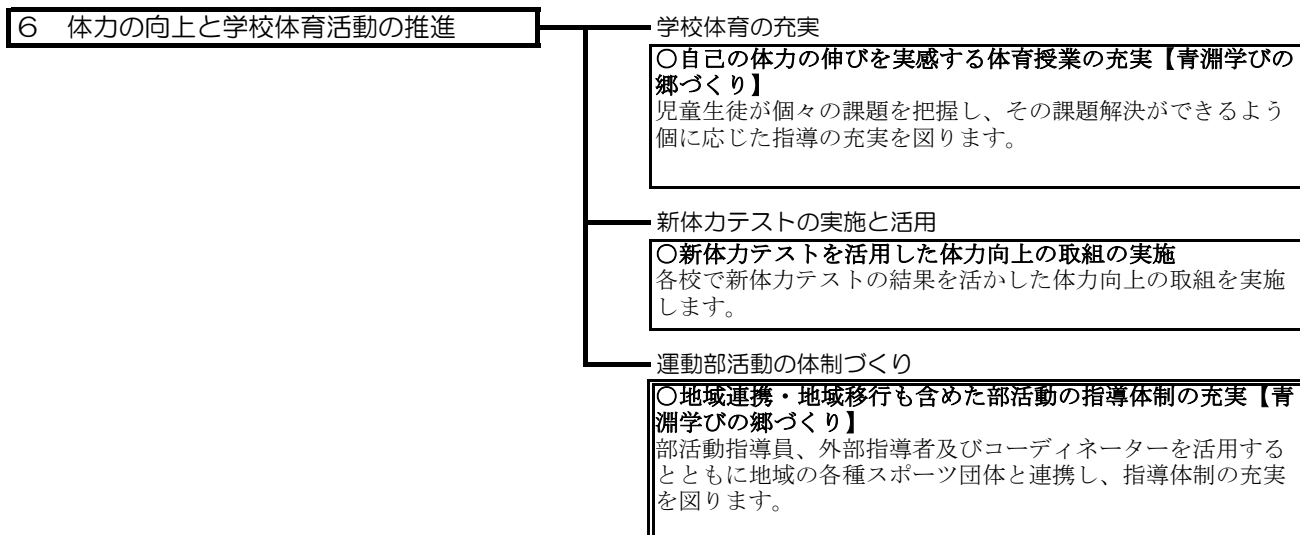
不登校対策の推進

○総合的な不登校対策の推進【青淵学びの郷づくり】
校内教育支援センターや、フリースペースえがおの活用、不登校支援アドバイザーを中心としたアウトリーチ型支援など総合的な不登校対策の充実を図ります。

小・中・高におけるなめらかな接続の推進

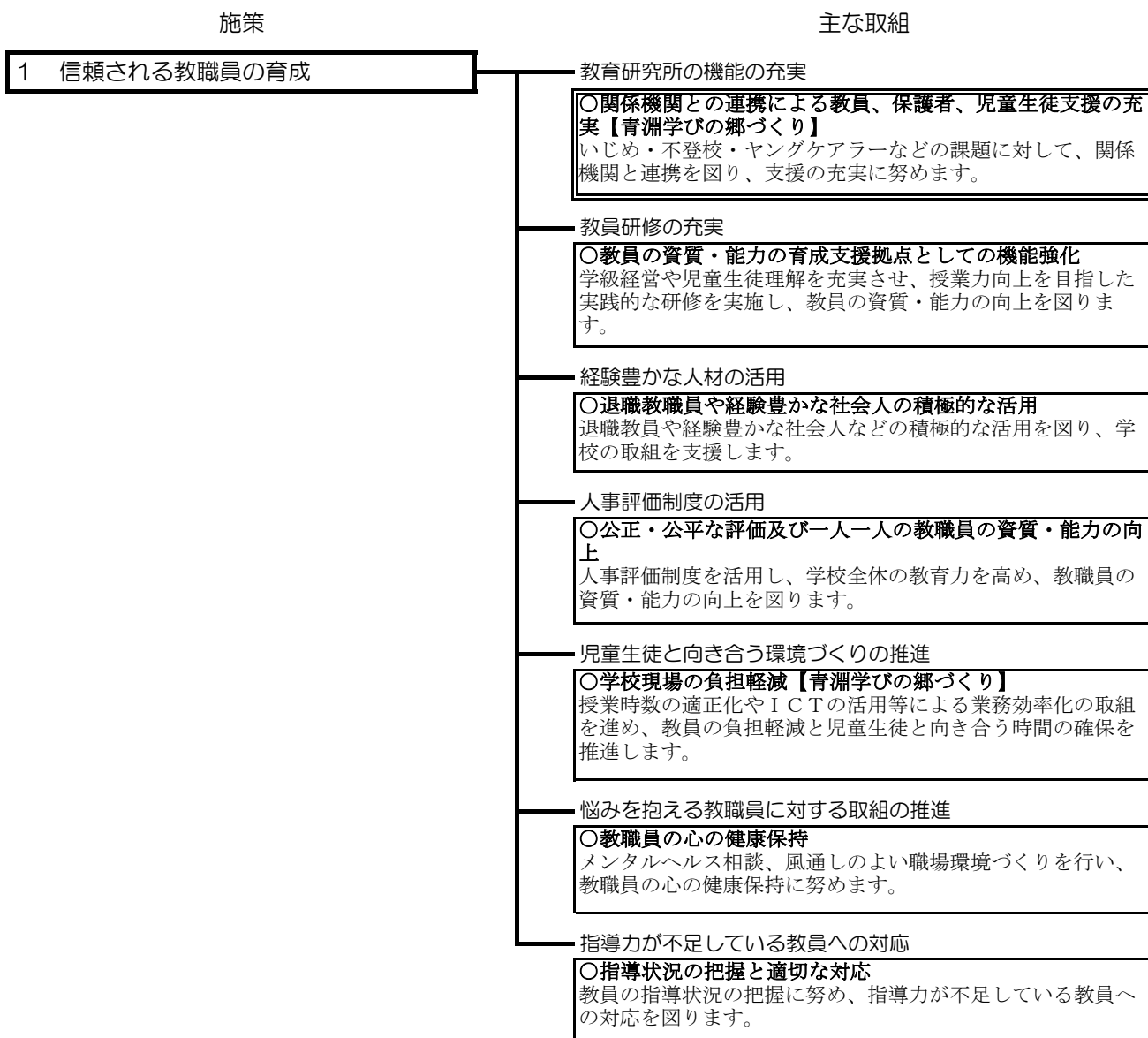
○校種間のなめらかな接続【青淵学びの郷づくり】
校種間の円滑な移行を図るために、小学生が中学校生活を体験する取組を推進します。

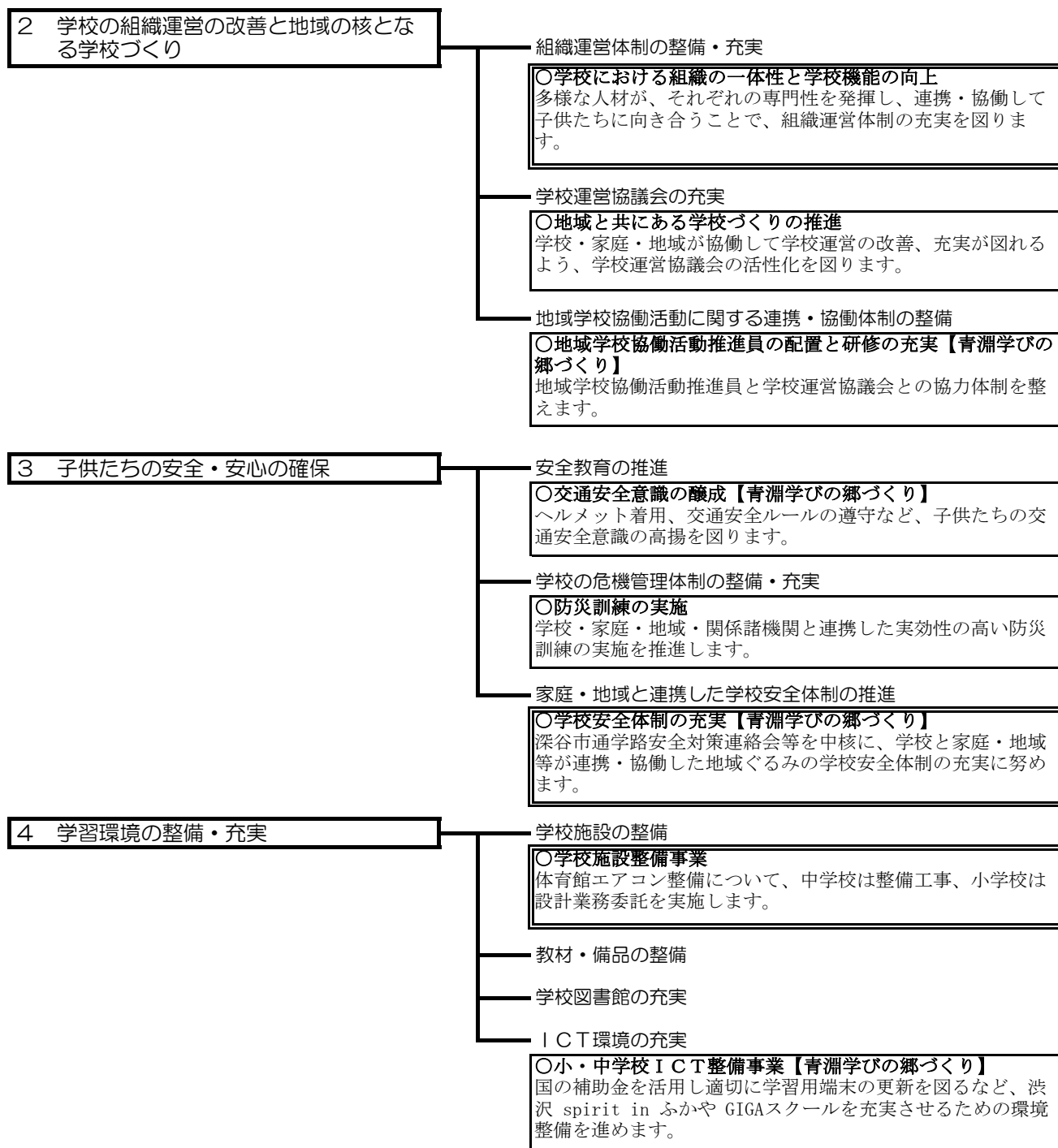




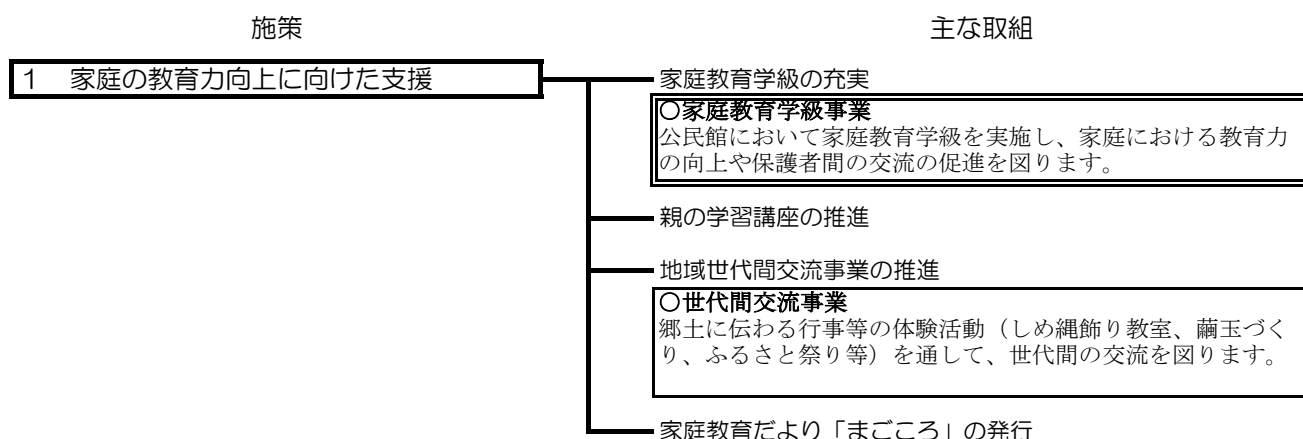
※アプローチルームは、登校渋りの児童生徒が教室復帰を目指し、学習等をする場所です。

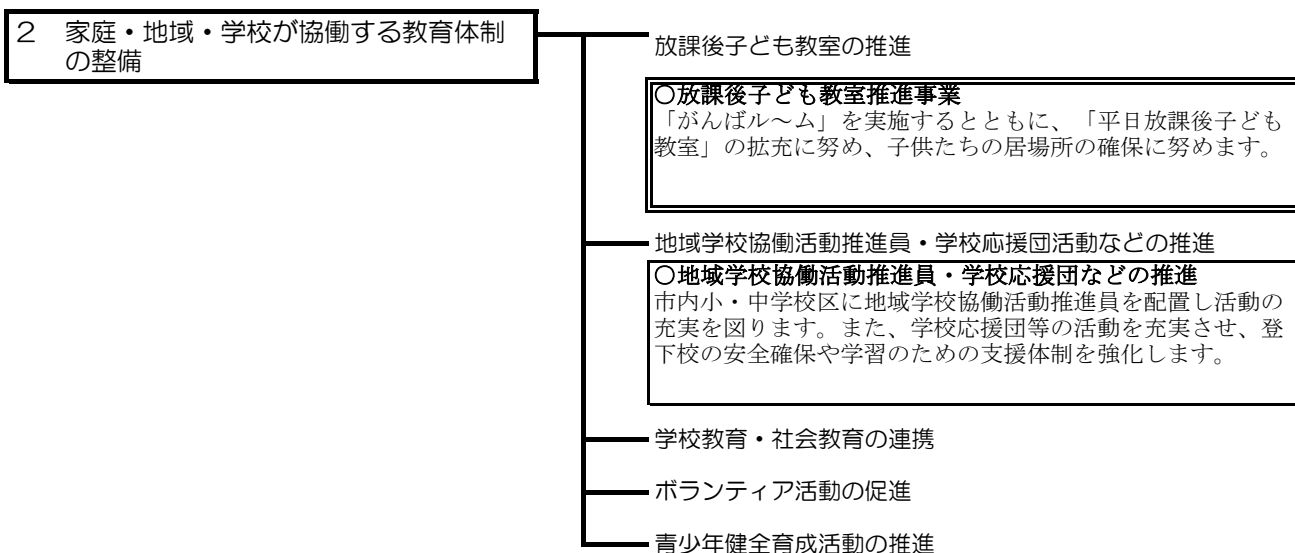
III 地域に信頼される学校教育の推進



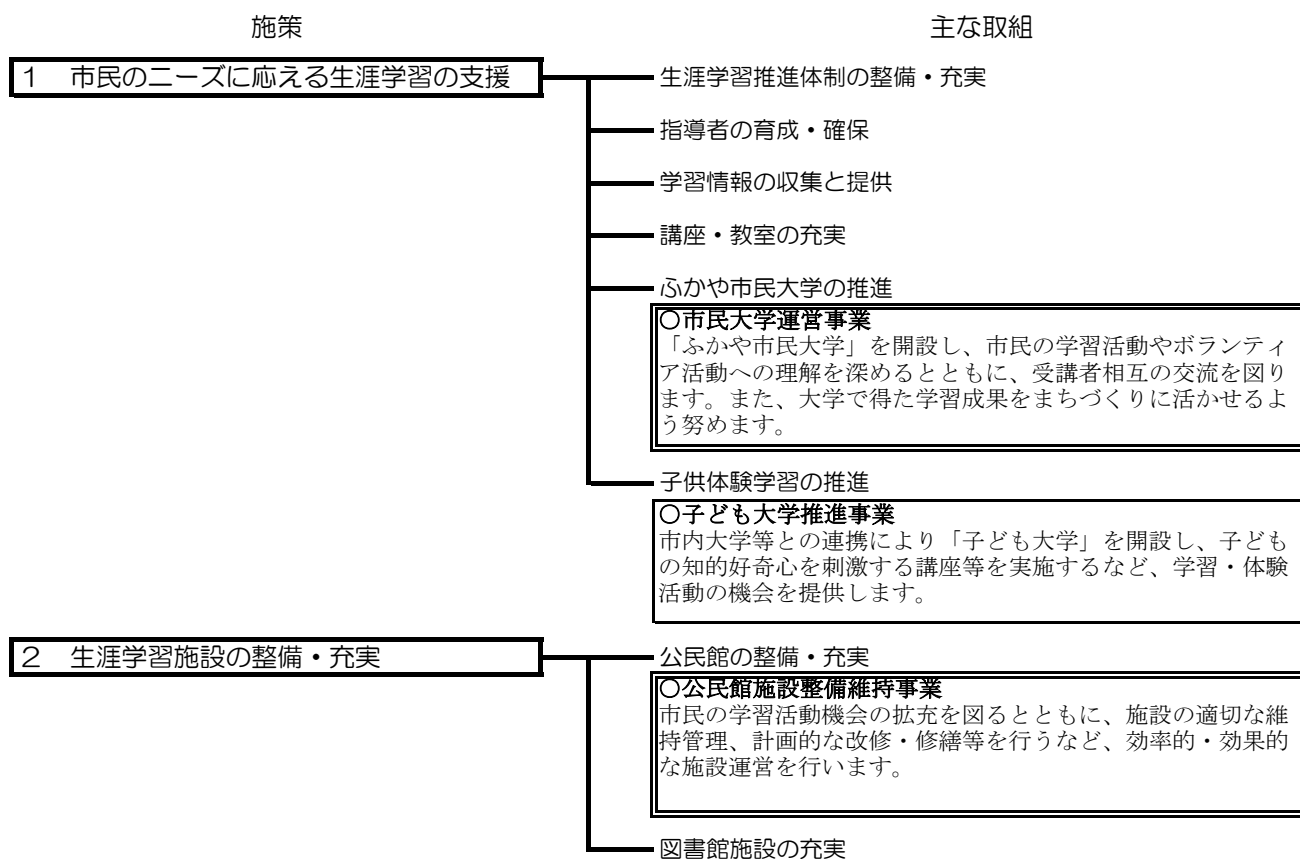


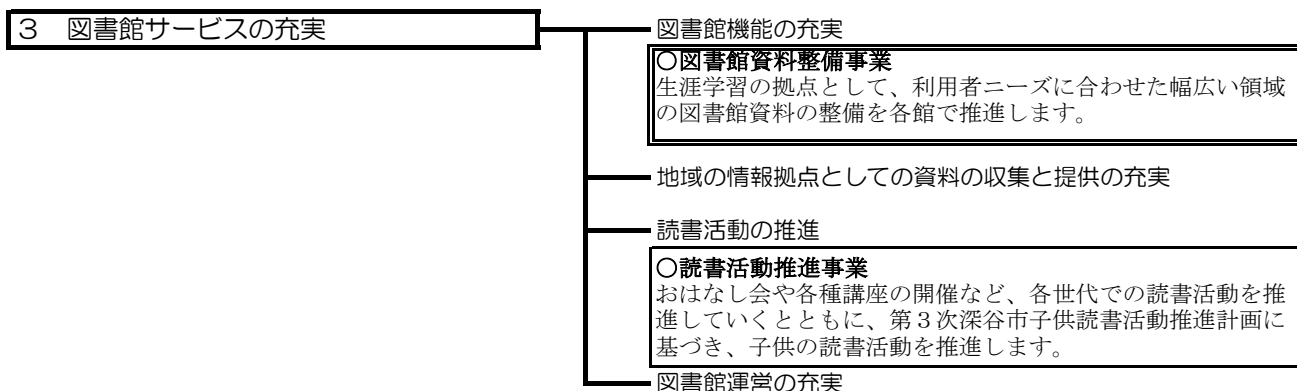
IV 家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上



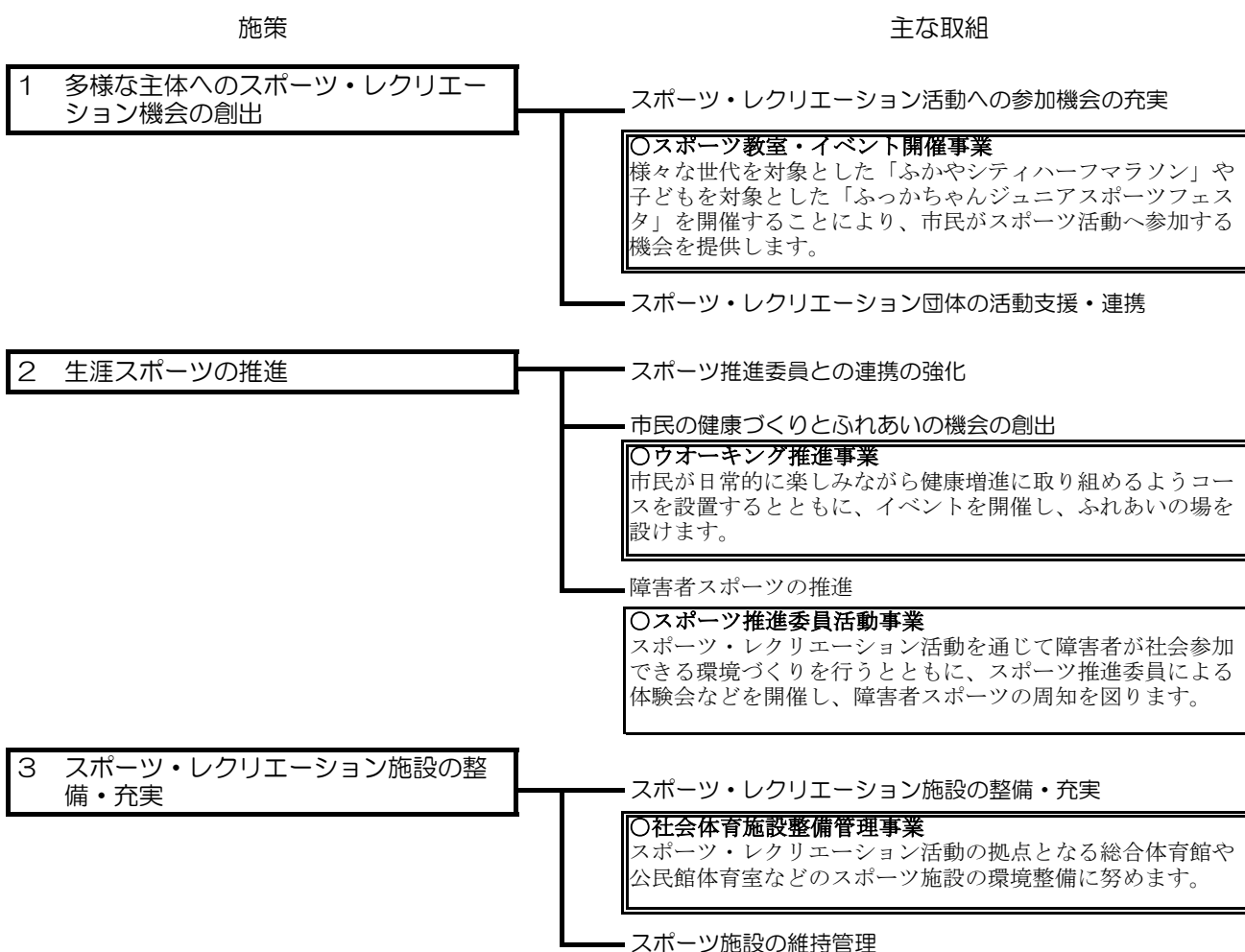


V 生涯学習の推進

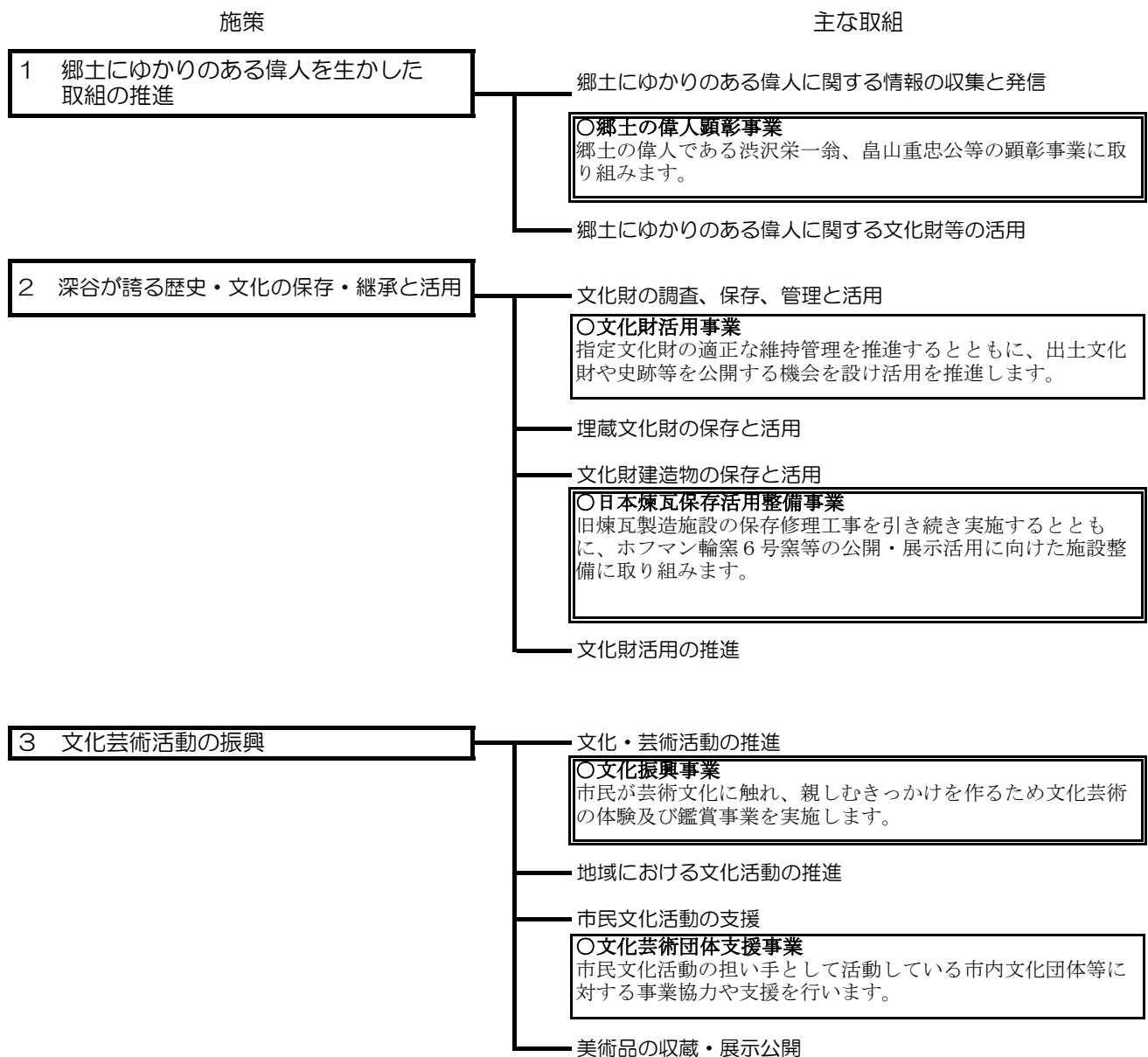




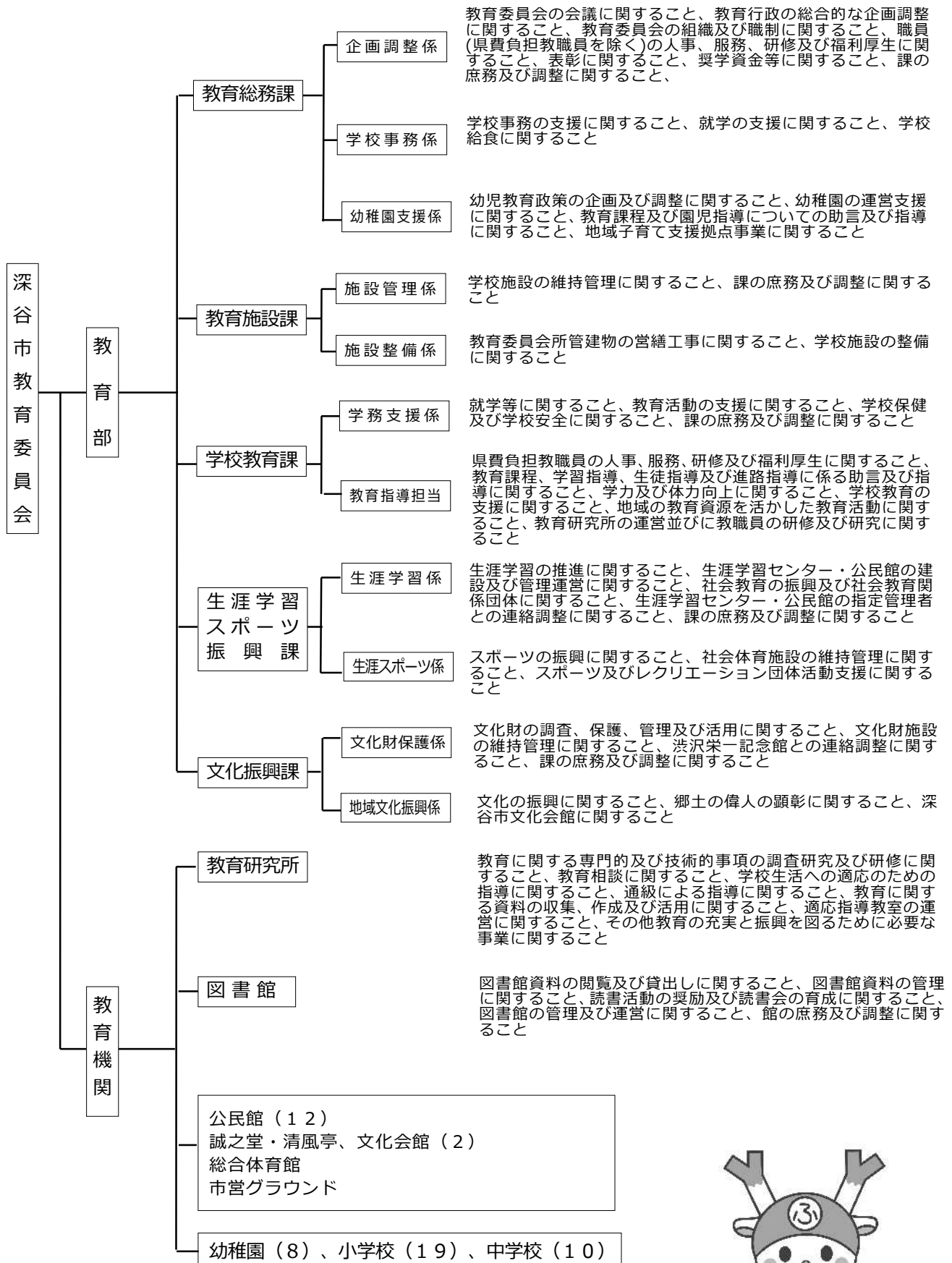
VI スポーツ・レクリエーションの推進



VII 郷土の歴史・文化の継承と活用



2. 事務局の組織及び事務分掌



3. 事務局及び教育機関職員数（令和7年4月1日現在）

（単位：人）

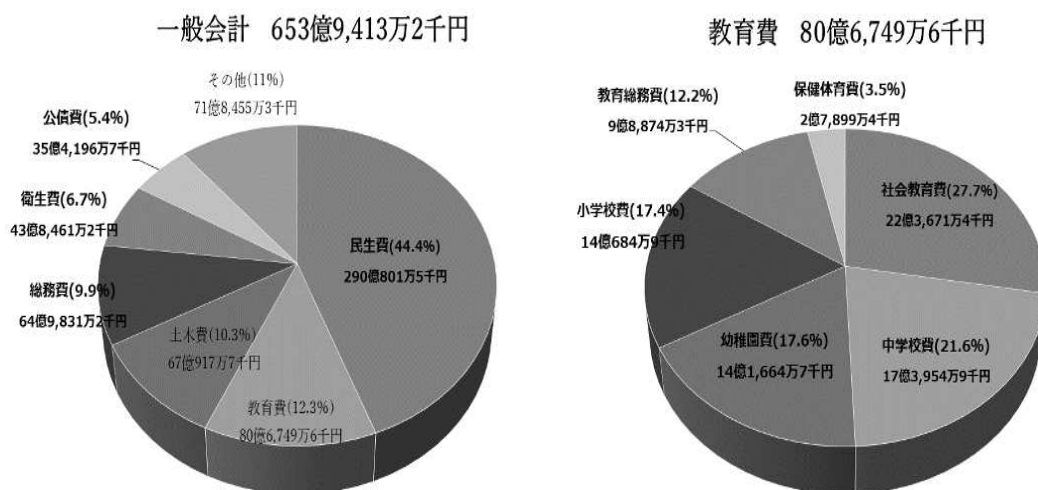
	事務職員	園長・教務主任 教務・教諭	業務員	給食調理員	専門員・指導員 相談員・支援員	合計
職 員 数	80 (15)	42	1	3	16	142

※事務職員には、技術職員を含みます。

※事務職員の（ ）内の数字は、指導主事を兼務している職員の人数です。

4. 令和7年度一般会計予算、教育費（歳出）

令和7年度の教育予算は、一般会計の当初予算額 653億9,413万2千円のうち、80億6,749万6千円で、総予算額に占める割合は12.3%となっています。



5. 令和7年度教育費内訳、財源内訳（当初予算）

（単位：千円）

項 目	予 算 額	教育費に対する 割合(%)	財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一般財源
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	
教育総務費	988,743	12.2	14,123	0	503	974,117
小学校費	1,406,849	17.4	12,685	36,400	78,218	1,279,546
中学校費	1,739,549	21.6	6,749	860,500	84,483	787,817
幼稚園費	1,416,647	17.6	113,967	479,200	101,707	721,773
社会教育費	2,236,714	27.7	193,281	238,300	164,036	1,641,097
保健体育費	278,994	3.5	1,920	52,500	1,261	223,313
合 計	8,067,496	100.0	342,725	1,666,900	430,208	5,627,663

6. 教育費（当初予算）

（単位：千円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般会計（A）	51,509,346	52,285,947	54,071,375	57,604,180	65,394,132
教育費（B）	5,098,582	6,758,685	6,349,609	7,416,379	8,067,496
一般会計に対する割合（B/A）	9.9%	12.9%	11.7%	12.9%	12.3%

7. 児童生徒1人当たりの教育費（当初予算）

（児童生徒数は各年度5月1日現在）

	小学校費 （千円）	児童数 （人）	児童1人当たり （千円）	中学校費 （千円）	生徒数 （人）	生徒1人当たり （千円）
令和3年度	1,395,582	6,944	201	592,813	3,747	158
令和4年度	1,063,014	6,773	157	662,028	3,671	180
令和5年度	1,329,624	6,720	198	748,167	3,520	213
令和6年度	1,512,566	6,592	229	961,972	3,486	276
令和7年度	1,406,849	6,437	219	1,739,549	3,432	507

8. 就学援助状況（令和6年度実績）

（単位：人、円）

分 類	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
学 用 品	669	7,688,590	430	9,794,845	1,099	17,483,435
通 学 用 品 費	669	1,500,490	430	978,290	1,099	2,478,780
新入学児童生徒学用品費	83	4,738,980	155	9,765,000	238	14,503,980
通 学 費	10	146,360	0	0	10	146,360
校外活動費（泊まり有）	133	506,450	222	1,378,620	355	1,885,070
校外活動費（泊まり無）	632	1,027,578	46	104,622	678	1,132,200
修 学 旅 行 費	142	3,308,334	130	7,909,856	272	11,218,190
ク ラ ブ 活 動 費	0	0	283	813,230	283	813,230
生 徒 会 費	0	0	459	859,416	459	859,416
P T A 会 費	557	1,771,653	415	1,645,002	972	3,416,655
体 育 実 技 用 品 費	0	0	36	153,800	36	153,800
学 校 給 食 費	677	29,472,141	431	22,789,654	1,108	52,261,795
医 療 費	0	0	0	0	0	0
オンライン学習通信費	386	5,411,620	392	5,456,890	778	10,868,510
合 計		55,572,196		61,649,225		117,221,421

9. 学校給食の状況

(1) 学校給食実施校（令和7年5月1日現在）

	学 校 数	児 童 ・ 生 徒 数
小 学 校	19 校	6,437 人
中 学 校	10 校	3,432 人
合 計	29 校	9,869 人

(2) 調理場方式（令和7年5月1日現在）

単独調理場	小 学 校	19 カ所
	中 学 校	10 カ所
合 計		29 カ所

(3) 給食関係職員配置状況・給食実施稼働状況（令和7年5月1日現在）

	栄養士数（人）	調理員数（人）	給食対象者数（人）	調理員一人当たりの調理食数（食）
小 学 校	19（13）〈6〉	120〔116〕	6,437	53.6
中 学 校	11（8）〈3〉	68〔68〕	3,432	50.4
合 計	30（21）〈9〉	188〔184〕	9,869	52.4

※（ ）は市費栄養士の人数、〈 〉は県費栄養教諭、栄養士の人数、〔 〕は委託職員の人数。

(4) 給食費（令和6年度実績）

	月額	1食単価	実施回数
小 学 校	4,100 円	240 円	187 回
中 学 校	4,900 円	300 円	182 回

※ 年間 11 ヶ月徴収

※ 市費で市立小中学校の児童生徒を対象に、食材費の高騰分を補填するため、補助金を交付しました。令和6年4月から9月（8月分除く）までの5ヶ月分では、小学校月額400円、中学校月額500円を、同年10月から令和7年3月までの6ヶ月分では、小学校月額950円、中学校月額1,150円を補助しました。

(5) 深谷市の学校給食における取組

① 給食活動について

交流給食（同一学年内、異学年、全校合同）、バイキング給食、親子試食会、招待給食（地域住民など）、とうもろこし・たけのこの皮むき体験、農業体験などをおし、望ましい食習慣の形成を図っています。

② 郷土料理について

郷土の偉人である渋沢栄一翁にちなんだ「煮ぼうとう」、鎌倉時代の武将、畠山重忠にちなんだ「重忠汁」、特産のねぎを使用した「ねぎぬた」などを実施しています。

Ⅱ 学 校 教 育



1. 重点施策

明日の人材を生む学校教育の推進

～「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成を目指して～

(1) 幼児教育の充実

① 幼・保・小・中の連携

- ・0歳から15歳までの子供を一貫して育てるため、保育園・幼稚園・小学校・中学校間の相互の情報交換を行い、園及び校種間のなめらかな接続を図ります。

② 子育て支援のための環境整備

- ・「就園前教育支援事業」（深谷東子育て支援センター）や「幼稚園教育活動推進事業」（全園での3歳児の受入れ、18時までの預かり、長期休業中の預かり、給食の提供）を通じ、子育て支援の充実を図ります。

(2) 小・中学校教育の充実

① 学校管理・運営の充実

◆「青淵・学びの郷づくり」の推進

- ・深谷市のめざす子ども像「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成につながる行動目標として「深谷の子『6つの誓い』」を、子供を取り巻くオール深谷で推進します。
- ・小学校19校、中学校10校に学校総合支援員を配置し、不登校児童生徒への対応を中心に学校運営や安全、学習など学校を総合的に支援します。本年度の重点事項として不登校児童生徒等のつながり支援の場所として校内教育支援センター「アプローチルーム」を運営し、支援・指導にあたります。
- ・小学校8校に学習支援員を、中学校全校に学習支援員、学力向上支援員を配置し、学習に不安を感じている児童生徒に対してきめの細かい学習支援を行い、学力の向上に努めます。
- ・深谷市学校問題サポートチームを随時設置し、対応に苦慮する学校への支援に努めます。
- ・アシスタントティーチャーや外国語指導助手（ALT）、英語アシスタントティーチャー（EAT）を配置し、児童生徒の学力の向上に努めます。
- ・園及び校種間のなめらかな接続を図り、小中一貫教育推進事業の充実を図ります。
- ・「ふるさと先生」の小中学校への派遣やオンライン授業、深谷市独自の道徳副読本「渋沢栄一翁 こころざし読本」及び「深谷こころざし読本」の活用、こころざし深谷国際塾・科学塾、渋沢栄一翁 ジュニアボランティアガイドの実施により、道徳教育・生き方教育・ふるさと教育の充実とともに、夢や目標に向かって努力する児童生徒を育みます。
- ・郷土の偉人・渋沢栄一翁の「立志と忠恕」の精神を育み、持続可能な深谷のまちづくりに貢献

できる人材を育成するため、市内の幼・保・小・中・高・大の各園・学校が地域の関係団体、機関等と連携・協働し、豊富な教育資源を活用して体系化されたカリキュラムづくりに取り組む中で、発達段階に応じた「ふるさと ふかや・渋沢学」を推進します。学校間及び学校と関係機関が連携した学びの充実を図ります。

- ・地域人材を活用した学習保障の場を設け、基礎学力に不安のある児童生徒の学習支援に努めます。
- ・生徒指導推進協議会、生徒指導訪問等を行うなど、積極的な生徒指導を推進し、いじめや不登校、非行・問題行動の未然防止を図ります。
- ・教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を全小中学校に配置し、教員の授業準備の補助等を行い、学校運営の充実を図ります。
- ・インクルーシブ支援員・特別支援補助員を配置し、特別な教育的支援を必要とする子供の困り感に寄り添った支援を行います。
- ・英語検定をサポートし、学習意欲の向上に努めます。
- ・国、県等の調査でカバーできない分野においてN R T等の調査を行い、学力の実態を把握し、「つまずき」への早期対応、学力向上に努めます。

◆なめらかな接続

- ・幼・保・小・中の担当者間で授業参観や情報交換を行うとともに児童生徒の交流を実施することにより、園及び校種間のなめらかな接続を図ります。
- ・中学校と高等学校の連絡協議会を開催し、進路指導の充実を図ります。
- ・市内にある高等学校・大学などの高等教育機関との積極的な連携を図り、学校教育の充実に努めます。
- ・教科支援エキスパートを全小学校に配置し、小学校の授業を充実させることで中1へのなめらかな接続を目指します。

◆教育と福祉との連携

- ・教育委員会とこども未来部、福祉健康部等との連携を図り、子供の継続的・組織的な支援体制づくりに努めます。

◆深谷市コミュニティ・スクールの推進

- ・市民協働の観点から、全小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域総がかりで次代を担う子供たちの育成を図ります。

◆教育研究所の資源活用

- ・教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究及び研修に努めます。
- ・教育研究所学校福祉相談員等による教育相談や巡回相談など、児童生徒や保護者、学校への適切な支援に努めます。
- ・学校と教育研究所との連絡・相談体制を整備・充実し、不登校の解消に努めます。

・教育研究所内に教育支援センター「いきいきスクール」、「いきいきナイトスクール」、「フリースペースえがお」を開設し、不登校児童・生徒への学習支援を中心に社会的な自立を目指したサポートを行います。

② 教育内容の充実

◆「知恵」「心」「体」のバランスのとれた教育の推進

・「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の3つの分野において、基礎的、基本的な内容の確実な定着を図ります。

◆基礎・基本の定着と活用力の向上

- ・アシスタントティーチャー、学習支援員、学力向上支援員を活用したT T（ティームティーチング）、少人数指導によるきめ細やかな指導を取り入れた学習活動の推進に努めます。
- ・中学校学習支援員がコーディネートし、学校総合支援員、学生ボランティアの協力のもと、中学生補習学習を推進します。
- ・児童生徒の発達の段階を踏まえ、各教科の基礎・基本を明確にした指導目標を設定し、指導内容の精選・重点化を図った教育課程の編成に努めます。
- ・学校訪問の充実を図り、「深谷市授業スタンダード」をもとに各教科等における厳選された指導内容、個を生かす指導方法の工夫、各教科等の特性に応じた学習評価をもとに、児童生徒一人一人が意欲的に学習に取り組む授業の創造に努めます。
- ・「渋沢 spirit in ふかや GIGA スクール」を推進し、個別最適な学びの日常化と協働的な学びの充実を図ります。

◆生徒指導体制の充実

- ・学校総合支援員や教育相談員の配置等を通じ総合的な不登校対策を推進するとともに、学校が抱える問題の解決に向けた支援と安全指導の充実に努めます。
- ・全教職員が児童生徒理解に基づく指導・援助に努め、いじめや不登校、非行・問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応ができるよう、いじめ問題対策連絡協議会等を機能させ、「立志と忠恕の安心ふっかネット」を活用する等、組織的な生徒指導体制を確立するとともに、家庭・地域等との連携を密にし、地域ぐるみの健全育成活動を推進します。

◆道徳教育の推進

- ・「渋沢栄一翁 こころざし読本」、「青淵・こころざし歳時記」等の活用や「ふるさと先生」の派遣により、道徳の時間の充実・改善を図り、立志の精神や忠恕の心、命を大切にする心を育みます。
- ・教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進により、児童生徒が生きがいのある学校生活を送ることができ、児童生徒の自主性や自発性を大切にし、成就感・存在感が得られるような教育活動を進め、共感的な人間関係の醸成に努めます。

◆体力向上及び健康・安全教育の推進

- ・体育授業等の充実を通じ、児童生徒が自ら運動する意欲を培い、体力向上に取り組むとともに、生涯にわたって積極的に運動に親しむ資質や能力を身に付けさせるために、発達の段階に応じた指導の充実に努めます。
- ・部活動指導員、外部指導者を設置し、専門的な技術指導による部活動の充実及び活性化を図ります。
- ・生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培うよう、学校の教育活動全体を通じた健康教育の推進に努めます。
- ・児童生徒の安全安心の確保に努めるとともに、児童生徒が自ら日常生活に潜む様々な危険に気づき、的確な判断の下に安全に行動し、他者の安全にも配慮することができる資質や能力の育成に努めます。
- ・生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための望ましい食生活や、好ましい人間関係を育成するために食育の推進と朝食欠食の解消に努めます。

◆人権教育の推進

- ・様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成するため、自校の人権教育推進上の課題を明確にし、人権問題に対する正しい知識と理解の定着を図るとともに、人権感覚の育成に努め、全教職員の共通理解の下、児童虐待防止教育や情報モラル教育、ヤングケアラー等の研修会を充実させ、教育活動全体を通じて計画的・組織的に人権教育の推進に努めます。

◆国際性をはぐくむ教育の推進

- ・ALT、EATの活用を図り、小学校における外国語、外国語活動、英語活動、中学校における英語教育の充実に努めます。
- ・外国人児童生徒や帰国児童生徒への日本語指導の充実を図るとともに、こころざし深谷国際塾などの実施を通じて国際理解教育の推進に努めます。
- ・幼稚園から英語に触れるカリキュラムを実施し、幼・小・中の一貫した英語教育サイクルを構築し、グローバル化に対応した人材の育成に努めます。

◆進路指導・キャリア教育の充実

- ・児童生徒一人一人が自己の進路に対する目的意識を高めるとともに、望ましい勤労観や職業観を身に付け、希望と自信をもって積極的、意欲的に学校生活に取り組めるよう、家庭や地域との連携を図り、児童生徒理解を基盤にした生き方指導、支援体制づくりに努めます。
- ・中学校と高等学校の連絡協議会を開催し、進路指導の充実を図ります。

◆情報教育の推進

- ・GIGA スクール構想で整備された一人一台端末や高速ネットワーク通信環境等を活用し、課題発見・課題解決型学習等の児童・生徒主体の学びの充実、児童・生徒一人一人の可能性を引き出す個別最適な学びの充実を行うことで、確かな学力の定着に努めます。

- ・一人一台端末等のＩＣＴ環境を子供の発達段階や教科の特性に合わせて活用、充実させ、情報の収集や選択、創造、発信などの情報リテラシーの育成に努めます。
- ・ＩＣＴ支援員を活用し、一人一台端末を用いた授業を行うとともに、教育ＤＸを促進していくための研修等に努めます。

◆環境教育の推進

- ・環境への理解を深め、環境を大切にする心を育成するとともに、緑豊かな学校づくりに努めます。

◆教職員の指導力向上

- ・「こころざし深谷教師塾」を教職員の授業力向上のための研修の一つとして位置づけ、優れた指導力を持つ教員の授業を参観し、自らの授業改善に努めます。
- ・市立全小・中学校の学校訪問を通して、教育行政施策の浸透や教育課程等について必要な指導・助言又は支援を行い、市内の学校教育の一層の充実と推進を図ります。
- ・学校福祉相談員や教育研究所専門員などの活用を図り、教育と福祉の連携や特別支援教育の推進に努めます。
- ・教育研究所研究協力員、発達支援アドバイザーを中心に、経験に応じた研修や指導力向上のための研修の充実を図るなど、教職員研修の拠点とします。

（３）特別支援教育の推進

① 特別支援教育体制の充実（多様な学びの場の充実）

② 就学支援・相談の充実

- ・早期からの教育相談、支援体制の構築（教育・福祉の連携の活用）
- ・継続した支援体制の充実（小中連携情報交換会等の活用）

③ 特別支援教育の視点に立った指導の充実

- ・特別支援学級に在籍する児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適正な就学支援及び個に応じた特別の教育課程を編成します。
- ・通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒に対し、通級による指導を行います。
- ・通常の学級に在籍している特別な教育的支援を要する児童生徒について、教育支援プランを作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた対応をします。

④ 特別支援学校や他機関との連携

⑤ 支援籍学習の推進

（４）学校施設・設備等の整備



① 学校施設設備の整備・充実

- ・児童生徒の活動を確保するための施設・設備の整備・充実に努めます。

② ICT機器等の整備・充実

- ・「渋沢 spirit in ふかや GIGA スクール」（深谷市の GIGA スクール構想）を基に整備した、一人一台端末と高速大容量の通信ネットワーク環境の保守・運用を適切に行い、学校のあらゆる場所で ICT 機器を活用した授業が展開できるよう努めます。

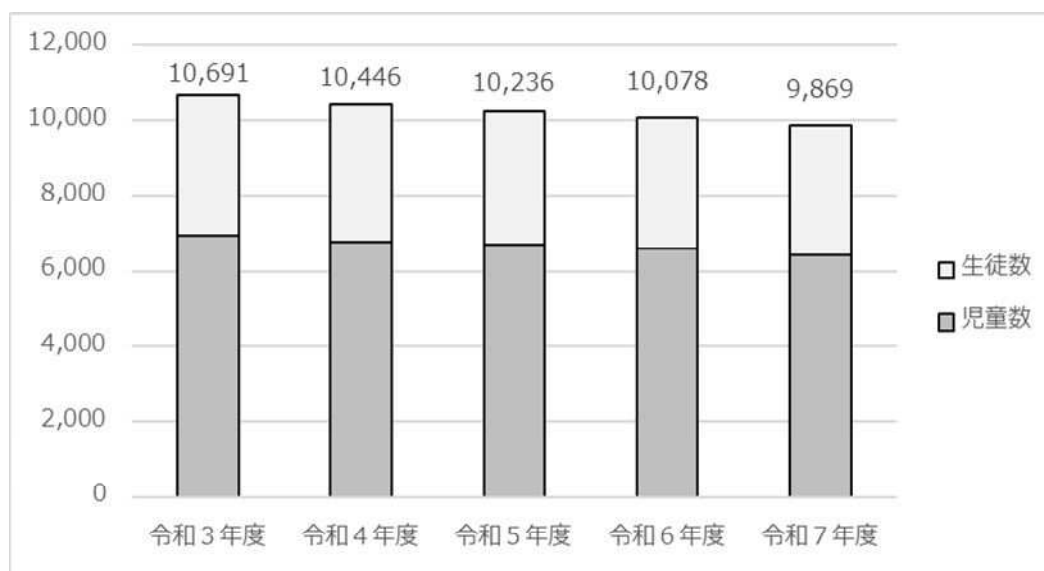
③ 学校図書館の充実と子ども読書活動の推進

④ 学校備品の計画的な整備

2. 児童・生徒・教職員数の推移（各年度 5 月 1 日現在）（学校基本調査より）

（1）5 年間の児童・生徒数の推移

（単位：人）



年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
児童数	6,944	6,775	6,719	6,592	6,437
生徒数	3,747	3,671	3,517	3,486	3,432
合 計	10,691	10,446	10,236	10,078	9,869

（2）5 年間の小・中学校教職員数の推移

（単位：人）

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
小学校教職員数	440	443	464	464	472
中学校教職員数	278	274	268	273	275
合 計	718	717	732	737	747



【深谷教育の基本理念】

深谷市は渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育に取り組みます！

「立志と忠恕の深谷教育」 ～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～

第3期深谷市教育振興基本計画

夢・志と生きる力

共生と支え合い

生涯の学びと活躍

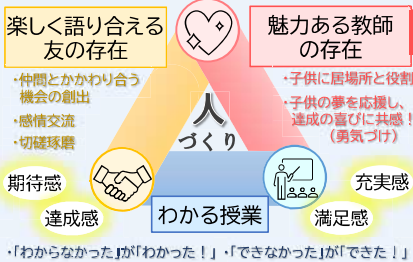
目指す子供像

「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成に向けて

人とのかかわり合い、人と響き合う 人づくりプロジェクト

「魅力ある学校」づくりを進めます！

「魅力ある学校」とは

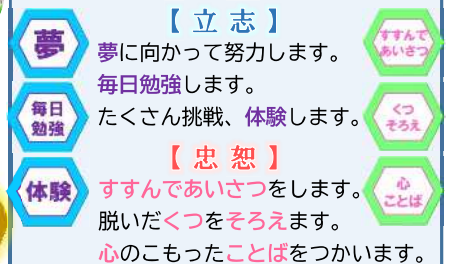


大切にしたい6つの「つながり」



大人が手本となって「深谷の子6つの誓い」を推進します！

深谷の子「6つの誓い」



夢を育む「教育内容」

確かな学力

- 学習内容の定着 (学力向上プロジェクト・学力向上検証(GKT)の実施) **新規**
- つまづきの発見 (小・中学校標準学力検査の拡充) **充実**
- つまづきの解消 (ふっかちゃんタ焼け計算道場・中学生補習学習)
- 教員の研修の充実 (こころざし深谷教師塾の実施)
- 早期英語学習 (教育課程特例校として小学1・2年生から英語教育の実施・幼稚園3歳児から英語遊びの実施)

健やかな体

- 体育指導の充実 (大学生等によるアスリートクラブ事業・民間プールを活用した水泳学習の拡充) **充実**
- 部活動の地域展開 (実証事業の拡大) **充実**
- 朝食欠食児童生徒の解消 (食育の推進)

豊かな心・伝統の継承「ふるさと教育」

- 「ふるさと ふかや・渋沢学」の推進 (モデルカリキュラムのデザイン) **充実**
- 新札発行記念日の取組 (7/3) **新規**
- 渋沢栄一翁 こころざし読本
- まごころ訪問の実施
- 渋沢翁語らいの日 (11/11)
- 渋沢栄一翁ジュニアボランティアガイド **充実**
- ふるさと先生の活用

夢・こころざし

- 社会体験チャレンジ
- 立志式・10歳を祝う会 等
- 中学生検定サポート事業 (英語検定検定料の全額補助)

夢を支える「教育環境の整備」

人材

- 学習支援の充実
 - ・小学校学習支援員 **新規**
 - ・中学校学力向上支援員 **新規**
 - ・外国語指導助手 (ALT)
 - ・英語アシスタントティーチャー (EAT)
 - ・日本語指導員 **新規**
 - ・教科支援Iサポート 等
- 特別支援教育の充実
 - ・発達支援アドバイザー
 - ・特別支援補助員
 - ・インクルーシブ支援員
 - ・幼稚園担任補助 等
- 不登校支援の充実
 - ・不登校支援アドバイザー
 - ・学校総合支援員 **新規**

環境

- 教育支援センターを中核とした不登校等児童生徒への支援
 - ・アプローチルーム **新規**
 - ・いきいきスクール・いきいきナイトスクール
 - ・フリースペース「えがお」の設置 **新規**
 - ・スーパーサマーキャンプ (仮)の実施 **新規**
 - 野外体験活動の実施
 - ・メタバースを活用した支援 **新規**
- 通級指導教室の拡充 **充実**
- 全児童にヘルメット (安全対策) とハンディファン (暑さ対策) を配布 **新規**
- 全校での自校式給食の実施 **充実**
- ・給食費補助の拡充 **新規**
- 幼稚園の完全給食の実施
- 全幼稚園で3歳児の受入れ実施

支え合い

- 幼・保・小・中連絡協議会
- 架け橋プログラムの実施 **新規**
 - ・幼保小の教育のつながりを意識した活動を実施
- 生徒指導推進協議会
- 中・高連絡協議会
- 教育・福祉連携推進会議
- 深谷市登下校安全見守り連絡会
- 地域学校協働活動推進員
- 深谷市コミュニティ・スクール (学校運営協議会) など

渋沢 spirit inふかや GIGAスクール

- 「個別最適な学び」「協働的な学び」に生かす基盤のツール
 - ⇒ 一人一台端末を活用した環境整備の推進
- ・デジタル教科書の活用 (実証研究事業の実施) **新規**
- ・ネットワーク環境の充実
- ・学習支援や授業支援、校務支援の充実
- ・各種研修の計画的な実施

3. 学校保健

※ 埼玉県、全国の値については、令和5年度の数値を示しています。

(1) 児童・生徒の体位の平均値一覧（令和6年度）

		小 学 校											
		1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長(cm)	深谷市	116.4	115.8	123.0	121.9	128.0	127.8	134.4	134.7	139.5	140.5	146.0	146.9
	埼玉県	117.2	116.1	122.7	121.9	128.7	127.9	134.4	134.3	139.9	141.5	146.1	148.6
	全国	116.7	115.8	122.6	121.8	128.5	127.7	134.0	134.1	139.7	141.1	146.0	147.8
体重(kg)	深谷市	21.5	21.3	24.4	24.1	27.3	26.9	32.0	31.2	35.2	35.0	40.3	40.4
	埼玉県	21.6	21.1	24.4	23.8	27.8	27.1	31.7	30.6	35.3	35.3	39.7	40.8
	全国	21.4	21.0	24.2	23.7	27.6	26.9	31.2	30.5	35.2	35.0	39.6	40.1

		中 学 校					
		1 学年		2 学年		3 学年	
		男	女	男	女	男	女
身長(cm)	深谷市	154.1	152.0	161.1	154.9	165.5	156.4
	埼玉県	153.7	152.4	161.0	155.2	166.3	156.6
	全 国	154.0	152.3	161.1	155.0	166.1	156.4
体重(kg)	深谷市	46.6	44.0	51.0	48.2	55.6	50.9
	埼玉県	44.7	44.5	49.7	47.7	55.5	49.9
	全 国	45.3	44.4	50.5	47.5	55.0	49.6



(2) 学校保健関係職員数（令和7年5月1日現在）

（単位：人）

	学 校 医	学校歯科医	学校薬剤師	養 護 教 員	保 健 主 事
幼 稚 園	21(14)	7(7)	7(6)	1	-
小・中学校	101(44)	43(41)	29(18)	29	29

※（ ）内の数字は、実人数

4. 進 路

(1) 過去5年間の中学校卒業者の進路状況(令和2年度～令和6年度) (単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業者数	1,270	1,300	1,270	1,184	1,217
進学者数 (%)	1,256 (98.9%)	1,287 (99.0%)	1,262 (99.4%)	1,167 (98.6%)	1,206 (99.1%)
就職者等数(%)	14 (1.1%)	13 (1.0%)	8 (0.6%)	17 (1.4%)	11 (0.9%)

(2) 過去5年間の進学者の内訳(令和2年度～令和6年度) (単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国公立高校	856	771	886	891	837
県 (進学率)	(67.3%)	(66.1%)	(68.8%)	(70.6%)	(69.4%)
内 私立高校	260	267	280	255	243
(進学率)	(20.5%)	(22.9%)	(21.8%)	(20.2%)	(20.1%)
全 国公立高校	3	2	6	3	2
日 県 (進学率)	(0.2%)	(0.2%)	(0.5%)	(0.2%)	(0.2%)
外 私立高校	47	27	37	34	32
(進学率)	(3.8%)	(2.3%)	(2.9%)	(2.7%)	(2.7%)
定時制・通信制高校	61	58	61	74	70
(進学率)	(4.8%)	(4.5%)	(4.8%)	(6.3%)	(5.8%)
高等専門学校	12	7	6	6	3
(進学率)	(0.9%)	(0.5%)	(0.5%)	(0.5%)	(0.2%)
特別支援学校	17	13	12	20	19
(進学率)	(1.3%)	(1.0%)	(1.0%)	(1.7%)	(1.6%)
合 計	1,256 (100%)	1,287 (100%)	1,262 (100%)	1,167 (100%)	1,206 (100%)



5. 深谷市立教育研究所紹介

〒366-0823 深谷市本住町12番8号
TEL 572-9456 FAX 551-3689



〔教育研究所の目ざすもの〕

- ◆教育と福祉の創造的連携の拠点
- ◆深谷の人づくりの拠点
- ◆学校支援の拠点

1. 〔教育研究所の現況〕

構 造	鉄骨造	3 階建
敷地面積	2 3 7 1 . 6 6㎡	
延床面積	2 1 4 3 . 3 1㎡	
1 階	7 7 8 . 7 2㎡	
2 階	7 1 3 . 3 6㎡	
3 階	6 5 1 . 2 3㎡	
(平成 2 1 年 1 2 月竣工)		



2. 〔教育研究所の業務概要〕

昭和 5 5 年 3 月、深谷市の教育の充実と振興を図るため設置され、次の業務を行っている。

- (1) 教育に関する専門的・技術的事項の調査研究及び研修に関すること
- (2) 教育相談に関すること
- (3) 学校生活への適応のための指導に関すること
- (4) 通級による指導に関すること
- (5) 教育に関する資料の収集、作成及び活用に関すること
- (6) その他、教育の充実と振興を図るために必要な事業に関すること

(1) 教育研究所調査研究（特別支援教育・教育相談・研修等）

主な取組	①	教育と福祉の連携を図り、特別支援教育の視点に立った支援体制の整備と充実を図ります。
	②	教育相談活動の充実を図るための環境づくりを推進します。
	③	教育研究所研究協力員（幼稚園 2 人、小・中学校 5 2 人）を委嘱し、経験に応じた研修や教科指導力向上の為の研修の充実を図ります。
訪問指導	要請訪問	要請または必要に応じて、教育相談活動の支援
	生徒指導訪問	生徒指導について、市内全小中学校に訪問指導
	特別支援教育 巡回相談	特別支援教育に関わる巡回相談
教育相談	来所相談	・学校福祉相談員・専門員による面接相談（月～金曜日 9 時 0 0 分～1 6 時 3 0 分） ・埼玉医科大学公認心理士による面接相談（毎月第 3 火曜日 1 5 時 1 5 分～） ・保護者サポート講座（年 2 回） ・就学を迎える保護者のつどい（年 2 回） ・不登校に寄り添う保護者交流会（年 5 回）
	電話相談	・児童生徒・保護者、その他、幼児児童生徒を持つ市民の電話相談への対応 ・「深谷イーネット」を開設し、悩み相談への対応
	訪問相談	・不登校児童生徒への支援 ・特別な教育的支援が必要な児童生徒への対応 ・就学前保護者への支援



研修等		・教育研究所研究協力員研修会（年数回） ・教育相談員研修会（年２回） ・生徒指導・教育相談中級研修会（年３回） ・英語教育等の研修 ・特別支援教育コーディネーター研修会（年２回） ・特別支援教育担当者研修会（年２回）
その他	関係機関との連携	・教育支援センター「いきいきスクール」「いきいきナイトスクール」「フリースペースえがお」の事務所管と指導助言 ・生徒指導推進連絡協議会（年５回） ・要保護児童対策地域協議会 ・教育・福祉連携推進会議（年２回） ・幼保小中連絡協議会（年１回） ・就学支援委員会（年４回）
	調査統計	不登校児童生徒調査、非行問題行動調査、教育相談員活動状況調査 等
	研究等	安部・木村教育学術研究論文の公募

（２）深谷市教育支援センター

①いきいきスクール

平成１５年３月、県適応指導教室閉鎖に伴い、同年４月より長期にわたり欠席している児童生徒に対して、個別指導を通して、基礎学力を補充し、社会性を身に付け、学校に復帰する意欲を喚起させるなど、社会的自立の基盤づくりを目的とし、開設しました。

場所：深谷市立教育研究所３階 指導時間：月～金曜日 ９時～１５時

指導者：教育研究所専門員３人、大学生ボランティア

②いきいきナイトスクール

昼間、学校や教育支援センターに通うことができない児童生徒を対象に学習の支援を行い、社会的自立をめざし、平成３０年５月に開室しました。

場所：深谷市立教育研究所３階

開室日等：週２日（原則 火・木）２時間程度（原則 １８時～２０時）

指導者：教育支援センター指導員 ２人

③フリースペースえがお

家から出られなかったり、学習や集団生活に適応が難しかったりする児童生徒が安心して気楽に足を運べる「居場所」として令和６年８月に開室しました。

場所：深谷市立教育研究所２階

開室日：週１日（原則 金）１３時～１６時

指導者：不登校支援アドバイザー 等

（３）通級指導教室

小・中学校の教育活動の一環として、通級による指導を実施します。特別の教育課程を編成し教育課程上に位置づけ、ことばや情緒の課題のある児童生徒に対して、個々の教育的ニーズに応じ、自立活動を中心とした指導を行います。

通級指導教室一覧

深谷小学校通級指導教室	難聴・言語、発達障害・情緒障害
藤沢小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害

上柴西小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
桜ヶ丘小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
常盤小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
本郷小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
川本北小学校通級指導教室	難聴・言語、発達障害・情緒障害
深谷中学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
上柴中学校通級指導教室	発達障害・情緒障害

(4) 教育の情報化

① 教育の情報化推進計画

「渋沢 spirit in ふかや GIGA スクール」を推進し、授業の中でＩＣＴを効果的に活用していく『授業改善』、子供と向き合う時間を確保するためにＩＣＴ機器を有効活用していく『負担軽減』、来たるべき災害等に備える『危機管理』を３つの柱として進めている。

② 令和６年度「教育の情報化に関する研修」

令和６年度「情報教育に関する研修」一覧

研修名	内 容
GIGA イノベーター教員研修	スキルアップを図るとともに、新たな価値創造するため挑戦、先進的な授業の研究実践を行う教員、各校のGIGAスクールリーダーとなる教員を育成する（全４回）
iPad スキル研修	iPad の基礎的・基本的な使い方について（全３回）
iPad の年次更新に関する研修	iPad の年次更新に向けた準備、手順等について
「まなびポケット」活用研修	学習 e ポータル「まなびポケット」の導入、活用について

(5) 外国語指導助手（A L T）の活動

① 授業日数と時間数（令和６年度実績）

	授業日数（延べ）	時間数（延べ）
小学校（１９校）	3,094 日	10,700 時間
中学校（１０校）	2,624 日	8,273 時間
合 計	5,718 日	18,973 時間

② その他の学校教育活動（令和６年度実績）

- ・英語スピーチコンテスト（中学校）の指導
- ・市立各幼稚園における外国語活動（週１回）及び行事への参加（クリスマス会等）
- ・市立小・中学校における英語指導教材作成



6. 小学校・中学校紹介

(1) 小学校



深谷市立明戸小学校

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼413番地

TEL 571-0868 FAX 571-7954

校長 常 木 誠 司

教頭 野 中 拓 二



〔学校の現況〕

校地面積	21,594 m ²	児童数	143 人
校舎延面積	5,009 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	10,317 m ²	教職員数	14 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 12 月 1 日 蓮沼小学校を惣持寺に創立
(開校記念日とする)

〔教育目標〕

- ・学ぶ力のある子
- ・心豊かな子
- ・たくましく生きる子



深谷市立幡羅小学校

所在地 〒366-0042 深谷市東方町3丁目25番地1

TEL 571-0517 FAX 571-7774

校長 強 瀬 雪 乃

教頭 芳 賀 一 行



〔学校の現況〕

校地面積	26,377 m ²	児童数	479 人
校舎延面積	6,261 m ²	学級数	21 学級
運動場面積	10,000 m ²	教職員数	29 人

〔開校概要〕

○明治 7 年 1 月 原の郷小学校を瑠璃光寺に創設
○明治 18 年 8 月 幡羅郷小学校を設置本校の起源とする

〔教育目標〕

- ・やさしく
- ・かしこく
- ・たくましく



深谷市立深谷小学校

所在地 〒366-0822 深谷市仲町19番1号

TEL 571-0329 FAX 571-0559

校長 関 根 正 雄

教頭 平 塚 愛



〔学校の現況〕

校地面積	31,068 m ²	児童数	480 人
校舎延面積	6,523 m ²	学級数	22 学級
運動場面積	16,865 m ²	教職員数	45 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 8 月 深谷学校を高台院に開設

〔教育目標〕

◎こころざし高く思いやりのある深小っ子の育成

- ・夢に向けて一步一步努力する子
- ・よく考え進んで学ぶ子
- ・身体を鍛え、自らを伸ばす子
- ・思いやりがあり支え合える子



深谷市立桜ヶ丘小学校

所在地 〒366-0801 深谷市上野台 508 番地

TEL 571-0967 FAX 571-6966

校 長 強 瀬 哲 朗

教 頭 蛭 川 や寿子

〔学校の現況〕

校地面積	25,952 m ²	児童数	538 人
校舎延面積	7,523 m ²	学級数	21 学級
運動場面積	11,332 m ²	教職員数	33 人

〔開校概要〕

○昭和 33 年 4 月 深谷市立桜ヶ丘小学校として開校

〔教育目標〕

・よく学ぶ子 ・思いやりのある子 ・きたえる子

～腰骨を立て、自分からとりくむ 桜の子～



深谷市立大寄小学校

所在地 〒366-0831 深谷市内ヶ島 660 番地

TEL 571-0774 FAX 571-8221

校 長 福 地 孝 史

教 頭 笹 岡 宏 之

〔学校の現況〕

校地面積	17,777 m ²	児童数	100 人
校舎延面積	4,273 m ²	学級数	8 学級
運動場面積	13,598 m ²	教職員数	14 人

〔開校概要〕

○明治 21 年 5 月 4 日 大寄学校創立、永光寺他 2 寺（開校記念日）

〔教育目標〕

・よく考える子 ・思いやりのある子 ・がんばりぬく子

○めざす学校像

一夢と目標をもち、笑顔あふれる大寄小学校一



深谷市立藤沢小学校

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1626 番地

TEL 571-2107 FAX 571-2648

校 長 高 木 千津子

教 頭 東 宏 昭

〔学校の現況〕

校地面積	19,716 m ²	児童数	444 人
校舎延面積	6,095 m ²	学級数	19 学級
運動場面積	9,040 m ²	教職員数	31 人

〔開校概要〕

○明治 22 年 6 月 藤沢村立藤沢尋常小学校開校

〔教育目標〕

ふるさとを愛し とともに学び 伸びゆくふじさわっ子

なかよく（徳） かしく（知） たくましく（体）





深谷市立深谷西小学校

所在地 〒366-0827 深谷市栄町 14 番 18 号

TEL 571-0250 FAX 571-7064

校 長 新 島 穰 二

教 頭 野 村 真 司



〔学校の現況〕

校地面積	28,679 m ²	児童数	432 人
校舎延面積	6,451 m ²	学級数	17 学級
運動場面積	14,880 m ²	教職員数	28 人

〔開校概要〕

○昭和 36 年 4 月 深谷西小学校開校（深谷小内）

○昭和 36 年 5 月 新校舎移転（開校記念日）

〔教育目標〕

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



深谷市立常盤小学校

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 58 番地 2

TEL 571-4923 FAX 571-4924

校 長 下 条 徹

教 頭 矢 島 弘 一



〔学校の現況〕

校地面積	20,086 m ²	児童数	685 人
校舎延面積	6,888 m ²	学級数	26 学級
運動場面積	8,395 m ²	教職員数	43 人

〔開校概要〕

○昭和46年4月 常盤小学校467人にて開校（幡羅小・深谷小内）

○昭和47年1月 新校舎授業開始

〔教育目標〕

かしこく やさしく たくましく



深谷市立八基小学校

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1300 番地

TEL 587-2250 FAX 587-2296

校 長 嘉 藤 央

教 頭 田 村 文 明



〔学校の現況〕

校地面積	19,633 m ²	児童数	106 人
校舎延面積	4,233 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	11,579 m ²	教職員数	15 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 8 月 横瀬小学校を横瀬福王寺に開校

○明治 29 年 12 月 新校舎新築し移転開校（開校記念日）

〔教育目標〕

なかよく かしこく たくましく

～渋沢栄一翁の志を受け継ぎ ふるさとを愛し
夢と思いやりの心をもつ八基の子～



深谷市立上柴西小学校

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西5丁目11番地1

TEL 571-7580 FAX 571-7120

校長 田辺鉄章

教頭 新藤久美子



〔学校の現況〕

校地面積	21,573 m ²	児童数	452人
校舎延面積	6,570 m ²	学級数	21学級
運動場面積	11,598 m ²	教職員数	36人

〔開校概要〕

○昭和54年4月 深谷市立上柴西小学校として開校

〔教育目標〕

- ・かしこく（知育）
- ・やさしく（徳育）
- ・たくましく（体育）



深谷市立上柴東小学校

所在地 〒366-0051 深谷市上柴町東5丁目9番地1

TEL 573-7435 FAX 573-7477

校長 梅澤修

教頭 大沢貴代美



〔学校の現況〕

校地面積	27,245 m ²	児童数	379人
校舎延面積	5,565 m ²	学級数	16学級
運動場面積	15,346 m ²	教職員数	27人

〔開校概要〕

○昭和59年4月 深谷市立上柴東小学校開校

〔教育目標〕

夢と志をはぐくむ上柴東っ子の育成

- ・本気で学ぶ子 一本気ー
- ・思いやりがある子 ー仲よくー
- ・進んで運動する子 ー元気よくー



深谷市立豊里小学校

所在地 〒366-0019 深谷市新戒635番地

TEL 587-2002 FAX 587-2276

校長 棚村かおり

教頭 大熊弘明



〔学校の現況〕

校地面積	20,223 m ²	児童数	169人
校舎延面積	4,161 m ²	学級数	8学級
運動場面積	10,723 m ²	教職員数	13人

〔開校概要〕

昭和60年4月 深谷市立豊里小学校として開校

〔教育目標〕

未来にはばたく力：「夢とこころざしをもち、笑顔あふれ
生き生きと活動する豊小っ子の育成」

- ・よく学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・体力のある子



深谷市立岡部小学校

所在地 〒369-0203 深谷市普濟寺 1305 番地

TEL 585-2023 FAX 585-6606

校長 新井 由美子

教頭 笛場 敦司



〔学校の現況〕

校地面積	17,183 m ²	児童数	306 人
校舎延面積	5,076 m ²	学級数	15 学級
運動場面積	8,520 m ²	教職員数	24 人

〔開校概要〕

- 明治 6 年 10 月 普濟寺本堂に開設、普濟寺学校と称す
- 明治 22 年 4 月 岡部尋常小学校となる

〔教育目標〕

「正しく 豊かに」

- よく学ぶ子
- 思いやる子
- きたえる子

元気・笑顔・あいさつ

夢とふるさを語り、

おもいやり あふれる 岡部小



深谷市立榛沢小学校

所在地 〒369-0223 深谷市榛沢 802 番地 1

TEL 585-2715 FAX 585-6607

校長 黒田 清子

教頭 吉岡 樹謙



〔学校の現況〕

校地面積	21,773 m ²	児童数	122 人
校舎延面積	3,834 m ²	学級数	8 学級
運動場面積	12,812 m ²	教職員数	14 人

〔開校概要〕

- 明治 5 年 学制発布により後榛沢東光寺に開校
- 明治 22 年 6 月 榛沢尋常小学校開校

〔教育目標〕

ふるさを愛し 夢と志をはぐくみ、

まごころと思いやり あふれる榛沢小

〔めざす児童像〕

- 進んで勉強する子
- 思いやりのある子
- 体をきたえる子



深谷市立本郷小学校

所在地 〒369-0213 深谷市針ヶ谷 506 番地

TEL 585-4191 FAX 585-6608

校長 金子 あづさ

教頭 増野 千賀子



〔学校の現況〕

校地面積	35,833 m ²	児童数	180 人
校舎延面積	4,119 m ²	学級数	8 学級
運動場面積	17,037 m ²	教職員数	15 人

〔開校概要〕

- 明治 22 年 4 月 本郷村立本郷尋常小学校として独立

〔教育目標〕

- 思いやりのある子
- よく考える子
- がんばる子
- 郷土を愛し誇りに思う子

『笑顔・元気・しあわせ』あふれる、

地域とともにある 本郷小学校



深谷市立岡部西小学校

所在地 〒369-0201 深谷市岡 2949 番地

TEL 585-4892 FAX 585-6609

校長 浅野 貴之

教頭 大塚 俊



〔学校の現況〕

校地面積	26,024 m ²	児童数	225 人
校舎延面積	3,936 m ²	学級数	11 学級
運動場面積	14,333 m ²	教職員数	20 人

〔開校概要〕

○昭和 53 年 4 月 1 日 岡部小学校より分離 現在地に開校

〔教育目標〕

- ・おもいやりのある子
- ・かんがえる子
- ・にこにこ明るい子
- ・しっかりがんばる子



深谷市立川本北小学校

所在地 〒369-1101 深谷市長在家 143 番地

TEL 583-2007 FAX 583-6616

校長 小谷野 聖二

教頭 小暮 建宏



〔学校の現況〕

校地面積	17,751 m ²	児童数	351 人
校舎延面積	6,191 m ²	学級数	16 学級
運動場面積	8,301 m ²	教職員数	29 人

〔開校概要〕

○明治 23 年 10 月 11 日 武川小学校開校

〔教育目標〕

豊かな心をもち
たくましく生きる
児童の育成

やさしく
かしこく
たくましく



深谷市立川本南小学校

所在地 〒369-1105 深谷市本田 4888 番地

TEL 583-3019 FAX 583-6509

校長 飯島 真澄

教頭 藤塚 健司郎



〔学校の現況〕

校地面積	30,159 m ²	児童数	132 人
校舎延面積	4,973 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	12,100 m ²	教職員数	16 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 12 月 6 日 本田小学校創立

〔教育目標〕

進んで学ぶ子

思いやりのある子

体をきたえる健康な子



深谷市立花園小学校

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1463 番地 1

TEL 584-0478 FAX 584-0479

校長 雨宮 大地
教頭 矢部 純史



〔学校の現況〕

校地面積	32,737 m ²	児童数	714 人
校舎延面積	7,320 m ²	学級数	27 学級
運動場面積	12,659 m ²	教職員数	39 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 母体となる用土学校・小前田学校・永田学校が開校

〔教育目標〕

- ① はなしをよく聞き、よく学ぶ子
- ② なかまとなかよく協力する子
- ③ そとで元気に活動する子
- ④ のぞみにむかってがんばる子



(2) 中学校



深谷市立明戸中学校

所在地 〒366-0016 深谷市新井 18 番地

TEL 571-0869 FAX 573-0634

校長 浦部 誠
教頭 高木 陽



〔学校の現況〕

校地面積	24,796 m ²	生徒数	91 人
校舎延面積	4,974 m ²	学級数	5 学級
運動場面積	13,638 m ²	教職員数	13 人

〔開校概要〕

○昭和 22 年 4 月 新学制施行により明戸小の一部、9 教室
(8 学級) を借り使用 4 月 23 日開校式举行

〔教育目標〕

- ・自ら進んで学ぶ生徒 (思えよ わが理想)
- ・思いやりのある生徒 (光れよ わが心)
- ・健康でねばり強い生徒 (鍛えよ わがからだ)



深谷市立幡羅中学校

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 38 番地

TEL 571-0229 FAX 571-0328

校長 清水 正之

教頭 荻野 貴弘



〔学校の現況〕

校地面積	36,193 m ²	生徒数	557 人
校舎延面積	8,270 m ²	学級数	19 学級
運動場面積	18,390 m ²	教職員数	35 人

〔開校概要〕

○昭和 22 年 4 月 開校

〔教育目標〕

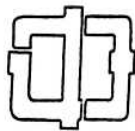
高く志を抱き 心豊かにたくましく生きる生徒の育成

＜目指す生徒像＞

○心を磨く生徒

○本気で学ぶ生徒

○体を鍛える生徒



深谷市立深谷中学校

所在地 〒366-0821 深谷市田谷 45 番地 2

TEL 571-0451 FAX 571-0775

校長 齊藤 寛

教頭 栗原 秀人



〔学校の現況〕

校地面積	42,001 m ²	生徒数	367 人
校舎延面積	9,176 m ²	学級数	14 学級
運動場面積	21,248 m ²	教職員数	31 人

〔開校概要〕

○昭和 54 年 4 月 開校（旧深谷中と大寄中が統合）

〔教育目標〕

志高く

- ・自ら考え 学び続ける生徒
- ・心豊かで 思いやりのある生徒
- ・体を鍛え やり抜く生徒



深谷市立藤沢中学校

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1973 番地

TEL 571-0742 FAX 573-0408

校長 大沢 裕

教頭 小暮 裕明



〔学校の現況〕

校地面積	44,105 m ²	生徒数	262 人
校舎延面積	6,037 m ²	学級数	10 学級
運動場面積	19,994 m ²	教職員数	24 人

〔開校概要〕

○昭和 22 年 4 月 23 日 開校

〔教育目標〕

確かな学力の向上と健やかな心身の育成

- ・自ら学ぶ生徒
- ・心豊かな生徒
- ・たくましい生徒



深谷市立豊里中学校

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 525 番地

TEL 587-2150 FAX 587-2153

校長 横瀬 晋
教頭 中井 美貴子

〔学校の現況〕

校地面積	23,646 m ²	生徒数	139 人
校舎延面積	6,936 m ²	学級数	7 学級
運動場面積	11,000 m ²	教職員数	18 人

〔開校概要〕

○昭和 39 年 4 月 豊里村立豊里中学校開校

〔教育目標〕

- ・自ら進んで学習する生徒
- ・正しい判断力を持った生徒
- ・明るく思いやりのある生徒
- ・強くたくましい生徒



深谷市立南中学校

所在地 〒366-0818 深谷市萱場 320 番地

TEL 572-8373 FAX 572-9638

校長 持田 栄
教頭 新井 知章

〔学校の現況〕

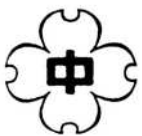
校地面積	38,642 m ²	生徒数	405 人
校舎延面積	7,542 m ²	学級数	17 学級
運動場面積	23,000 m ²	教職員数	30 人

〔開校概要〕

○昭和 58 年 4 月 深谷市立南中学校として開校

〔教育目標〕

- ・よく学び、よく習う（知）
- ・心を耕し、体を鍛える（徳・体）



深谷市立上柴中学校

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西 2 丁目 23 番地 1

TEL 573-7438 FAX 573-1206

校長 森田 豊
教頭 立道 竜之

〔学校の現況〕

校地面積	33,087 m ²	生徒数	459 人
校舎延面積	8,675 m ²	学級数	16 学級
運動場面積	18,692 m ²	教職員数	37 人

〔開校概要〕

○昭和 59 年 4 月 1 日 深谷市立上柴中学校として開校

〔教育目標〕

- 「夢・志の実現」
- ・自ら学ぶ生徒
- ・心豊かな生徒
- ・たくましい生徒





深谷市立岡部中学校

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1214 番地

TEL 585-2623 FAX 585-6055

校長 新井 宏
教頭 山下 雅之

〔学校の現況〕

校地面積	38,958 m ²	生徒数	507 人
校舎延面積	8,351 m ²	学級数	18 学級
運動場面積	21,548 m ²	教職員数	37 人

〔開校概要〕

○昭和 41 年 4 月 岡部村立岡部中学校、榛沢中学校、本郷中学校を統合して岡部中学校として設置

〔教育目標〕

- ・志を持ち自ら学ぶ生徒
- ・豊かな心を持ち礼儀正しい生徒
- ・健康でねばり強く取り組む生徒



深谷市立川本中学校

所在地 〒369-1108 深谷市田中 530 番地

TEL 583-2014 FAX 583-3004

校長 小久保 俊之
教頭 清水 修

〔学校の現況〕

校地面積	45,980 m ²	生徒数	268 人
校舎延面積	7,398 m ²	学級数	12 学級
運動場面積	30,318 m ²	教職員数	26 人

〔開校概要〕

○昭和 51 年 4 月 川本村立川本中学校創立
川本中学校開校式 (4 月 17 日)

〔教育目標〕

- 自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、
主体的に行動できるたくましい生徒の育成
- ・自主的で意欲的に学ぶ生徒
 - ・心豊かで思いやりのある生徒
 - ・健康でねばり強い生徒



深谷市立花園中学校

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1980 番地

TEL 584-0634 FAX 584-0635

校長 栗田 賢
教頭 橘 隆行

〔学校の現況〕

校地面積	54,677 m ²	生徒数	377 人
校舎延面積	7,835 m ²	学級数	13 学級
運動場面積	15,004 m ²	教職員数	25 人

〔開校概要〕

○昭和 22 年 4 月 花園村立花園中学校創立

〔教育目標〕

- 真摯に学ぶ生徒
心を磨く生徒
体を鍛える生徒
- 立志・忠恕、あいさつ日本一の学校



7. 幼稚園教育

(1) 幼稚園概要

① 現 況

市立の幼稚園の歴史は、大正9年に深谷市立深谷幼稚園の前身である二葉幼稚園の創設が始まります。市では、幼稚園と小学校の一貫した教育を目指し、昭和54年までに10の幼稚園が小学校との併設園として設置され、平成18年1月1日の1市3町の合併時には12園となりました。その後、平成29年に2園を廃止し、令和3年に3園を廃止し、新たに1園を設置したことにより、8園が設置されています。

市の幼稚園教育は、幼児期が生涯にわたる人格形成の基礎を確立する最も大切な時期に当たることを考慮し、就学前の幼児が円滑に小学校生活に入れるようにするための基礎づくりを重視しています。平成12年度からは、保護者や地域のニーズに応じて2年保育を段階的に実施し、平成16年度には全園で実施しました。平成29年度からは、3年保育を1園で実施し、令和3年度には全園で実施しました。各園とも3年間の一貫性をもった教育課程の編成や、保・小・中学校との連携を図るなど、幼児期にふさわしい幼稚園教育が展開されるよう工夫や努力をしています。

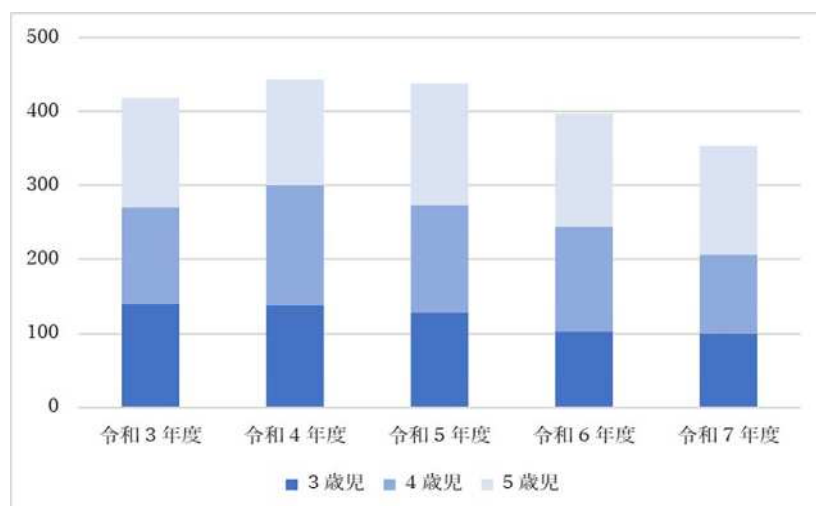
② 魅力ある幼稚園づくりの観点

- ・園長のリーダーシップの発揮と全職員の経営参加
- ・特色ある教育、創意工夫を生かした教育課程の編成
- ・学級経営の充実
- ・計画的な園内研修
- ・基本的な生活習慣の育成
- ・特別な支援を要する幼児の理解
- ・保・小・中学校や家庭・地域社会との積極的な連携



(2) 5年間の園児数の推移（各年5月1日現在）

（単位：人）



年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
5 歳 児	148	142	165	154	147
4 歳 児	131	164	146	141	107
3 歳 児	139	137	127	102	99
合 計	418	443	438	397	353

(3) 5年間の教職員数の推移（各年5月1日現在）

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教職員数	82	90	89	92	94

8. 幼稚園紹介

深谷市立深谷幼稚園

所在地 〒366-0822 深谷市仲町 19 番 2 号

TEL・FAX 571-0948



園 長 井 上 朋 子

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	2,521 m ²		
園 舎 延 面 積	542 m ²		
運 動 場 面 積	559 m ²		
保 育 室	3 室	遊 戯 室	1 室
教 材 室	1 室	職 員 室 (保 健 室 含 む)	1 室
3 歳 児 園 児 数	12 人	学 級 数	1 学 級
4 歳 児 園 児 数	12 人	学 級 数	1 学 級
5 歳 児 園 児 数	12 人	学 級 数	1 学 級
教 職 員 数	11 人		

〔沿革概要〕

- ・大正 9 年 6 月 二葉幼稚園創立、深谷町に移管、
深谷町立深谷幼稚園と称す
- ・昭和 61 年 3 月 新園舎完成

〔教育目標〕

- ◎「夢と思いやりを育む」
- ・健康で生き生きとした子
- ・友達と仲よく遊べる子
- ・感じたこと考えたことをのびのび表現できる子
- ・自然に親しみ進んで物事に取り組む子

深谷市立深谷西幼稚園

所在地 〒366-0827 深谷市栄町 14 番 19 号

TEL・FAX 571-2786



園 長 田 部 井 依 基

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,052 m ²		
園 舎 延 面 積	428 m ²		
運 動 場 面 積	2,008 m ²		
保 育 室	3 室		
学 童 保 育 室	1 室		
3 歳 児 園 児 数	13 人	学 級 数	1 学 級
4 歳 児 園 児 数	7 人	学 級 数	1 学 級
5 歳 児 園 児 数	13 人	学 級 数	1 学 級
教 職 員 数	10 人		

〔沿革概要〕

- ・昭和 41 年 4 月 園舎落成並びに開園式挙行する
- ・平成 6 年 3 月 園舎落成

〔教育目標〕

- ・げんきな子
- ・やさしい子
- ・やりぬく子

深谷市立桜ヶ丘幼稚園

所在地 〒366-0801 深谷市上野台 508 番地

TEL・FAX 571-2788



園 長 太 田 由 香

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,109 m ²		
園 舎 延 面 積	676 m ²		
運 動 場 面 積	935 m ²		
保 育 室	4 室	学 童 保 育 室	1 室
職 員 室	1 室		
3 歳 児 園 児 数	9 人	学 級 数	1 学 級
4 歳 児 園 児 数	20 人	学 級 数	1 学 級
5 歳 児 園 児 数	20 人	学 級 数	1 学 級
教 職 員 数	13 人		

〔沿革概要〕

- ・昭和 38 年 4 月 深谷市立桜ヶ丘幼稚園開園
- ・平成 14 年 園舎・学童保育室完成

〔教育目標〕

- ◎腰骨を立て自分からとりくむ さくらの子（土台）
- ・元気に遊ぶ子
- ・友達と仲よくする子
- ・よく考える子

深谷市立藤沢幼稚園

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1625 番地

TEL・FAX 571-5600

園 長 山 田 頼 子



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,343 m ²		
園舎延面積	362 m ²		
運動場面積	2,198 m ²		
保 育 室	3 室		
職 員 室	1 室		
3 歳児園児数	6 人	学級数	1 学級
4 歳児園児数	6 人	学級数	1 学級
5 歳児園児数	12 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	10 人		

〔沿革概要〕

- ・昭和 35 年 4 月 藤沢幼稚園として設立
- ・平成 28 年 1 月 新園舎完成

〔教育目標〕

- ◎なかよく 心豊かに生き生きと活動する幼児の育成
- ◎かしこく
- ◎たくましく

深谷市立上柴西幼稚園

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西 5 丁目 18 番地 5

TEL・FAX 573-5240

園 長 齊 藤 留 理



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	2,690 m ²		
園舎延面積	664 m ²		
運動場面積	1,500 m ²		
保 育 室	6 室	職員室	1 室
3 歳児園児数	17 人	学級数	1 学級
4 歳児園児数	17 人	学級数	1 学級
5 歳児園児数	18 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	13 人		

〔教育目標〕

- ◎あかるく やさしく たくましく
- <目指す幼児像>
 - ・意欲的に取り組み、考えたり工夫したりしながら最後までやり通す子
 - ・仲良く遊び、友だちを大切にする思いやりいっぱいの子
 - ・笑顔いっぱい、元気いっぱいの挨拶や返事のできる子

〔沿革概要〕

- ・昭和 54 年 4 月 深谷市立上柴西幼稚園として上柴西小学校内に開園
- ・昭和 55 年 2 月 園舎完成

深谷市立深谷東幼稚園

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 62 番 2 号

TEL 501-2738 FAX 501-2764

園 長 舟 橋 康 子



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,387 m ²	運動場面積	841 m ²
園舎延面積	1,469 m ²		
保 育 室	6 室	職員室	1 室
遊 戯 室	1 室	調理室	1 室
子育て支援センター	1 室		
3 歳児園児数	28 人	学級数	2 学級
4 歳児園児数	26 人	学級数	2 学級
5 歳児園児数	52 人	学級数	2 学級
教 職 員 数	26 人(内、子育て支援センター2 人)		

〔教育目標〕

- ◎かしこく やさしく たくましく
- <目指す幼児像>
 - ・よく遊びよく考える子
 - ・やさしく思いやりのある子
 - ・たくましくやりぬく子
 - ・楽しく進んで食べる子

〔沿革概要〕

- ・令和 3 年 4 月 幡羅、常盤、明戸幼稚園を再編し、深谷東幼稚園開園

深谷市立おかべ幼稚園

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1382 番地

TEL 585-4190 FAX 585-4240



園 長 穠 山 明 美

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,075 m ²		
園 舎 延 面 積	507 m ²		
運 動 場 面 積	962 m ²		
保 育 室	3 室	小ホール	1 室
3 歳 児 園 児 数	14 人	学級数	1 学級
4 歳 児 園 児 数	19 人	学級数	1 学級
5 歳 児 園 児 数	20 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	11 人		

〔沿革概要〕

- ・平成 17 年 4 年 岡部町立幼稚園 4 園を廃園し、みらい
幼児園おかべとの幼保一体の施設とし
て岡部町立おかべ幼稚園を開園する
- ・平成 18 年 1 月 合併により深谷市立おかべ幼稚園と改称

〔教育目標〕

- ・心身ともに健康でたくましい子
- ・みんなと仲良くし、思いやりのある子
- ・意欲的に遊べる子
- ・楽しんで話し、聞ける子
- ・物事に感動し、豊かに表現できる子

深谷市立花園幼稚園

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1503 番地

TEL・FAX 584-1779



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,771 m ²		
園 舎 延 面 積	847 m ²		
運 動 場 面 積	1,326 m ²	職員室	1 室

(令和 5 年度から休園中)

〔沿革概要〕

- ・昭和 44 年 5 月 花園町立花園幼稚園として開園
- ・平成 18 年 1 月 合併により深谷市立花園幼稚園
と改称する

Ⅲ 社 会 教 育

1. 深谷市の社会教育の概要

少子高齢化、情報化、グローバル化等による社会構造や環境の著しい変化に伴い、市民はライフサイクルの変化やライフステージに対応した学習機会の確保と提供を求めています。社会教育の果たす役割に大きな期待が寄せられています。

社会教育推進のためには、学習環境の整備充実・拡大が重要であり、このことは生涯にわたる学習機会の提供につながるものです。

また、ものの豊かさから心の豊かさへと人々の関心が移行する中で、市民の文化・芸術活動に対する意識は年々高まっており、文化財においても、史跡などの保存・整備、民俗資料や古文書の調査・収集、無形文化財の後継者の育成など、多くの関心が寄せられています。

ゆとりや潤いのある文化的環境を求める市民に応えるために、文化意識や郷土意識の高揚を図ることが必要であり、また、時代に即した学習環境の整備と豊かな市民文化を育てる必要があることから、市民の生涯にわたる多様な学習機会をつくり、「次代を担う人と文化をはぐくむまちの創造」を推進します。



2. 重点施策

(1) 家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上

① 家庭の教育力向上に向けた支援

- ◆ 家庭教育の学習機会として、公民館において、家庭教育学級や「親の学習」講座を実施するとともに、小学校の就学時健診時に「親の学習」講座を実施し、親同士の交流や子育てに必要な知識を深めることで、家庭における教育力の向上を図ります。
- ◆ 基本的な生活習慣や倫理観、自制心や自立心などを身に付けさせることができる家庭づくりを目的として、家庭教育だよりを発行し、家庭教育の支援に努めます。また、地域住民と子供たちとの世代間交流を図ることにより、地域とつながりをもった家庭教育の支援をしていきます。

② 家庭・地域・学校が協働する教育体制の整備

- ◆ 家庭・地域・学校の連携により、小学校で放課後子ども教室を実施し、子どもたちの居場所づくりと学習を支援します。また、各小・中学校に地域学校協働活動推進員を配置することにより、学校応援団や地域ボランティアなどの活動を充実させ、子どもたちの安全確保や学習のための支援体制を強化します。
- ◆ 世代間交流事業や放課後子ども教室などの実施により、学校と地域の活性化を図るとともに、PTA 活動に対する支援等を行い、学校教育と社会教育の連携・強化を図り

ます。

- ◆ 各種事業の展開を図る中でボランティア意識の高揚を図り、社会参加活動や青少年健全育成の取組を促進します。

(2) 生涯学習の推進

① 市民のニーズに応える生涯学習の支援

- ◆ 生涯学習を推進するための計画の立案や社会教育における問題の把握・提言等を行う社会教育委員会や公民館運営審議会などの活動の充実を図り、生涯学習の推進に係る体制を整備します。
- ◆ 各種社会教育指導者の養成や確保を図り、人材の育成・確保に努めます。
- ◆ 公民館・図書館などの社会教育施設の相互の連携を強化します。
- ◆ 生涯学習センター・公民館における市民ニーズを捉えた事業や特色ある事業の展開、各種学級・講座の一層の充実を図ることにより、学習機会の充実、地域コミュニティの向上等を図ります。
- ◆ 市民大学を実施し、郷土深谷を学ぶ機会や現在の社会における課題に対する学習の機会の提供・充実を図ります。
- ◆ 学校や家庭では得られないような社会体験や自然体験などの活動機会を提供するため、地元のNPO（特定非営利活動法人）や大学等と連携し「子ども大学ふかや」などを推進します。

② 生涯学習施設の整備・充実

- ◆ 既設の生涯学習センター・公民館など社会教育施設の有効活用を図りながら、整備と機能の充実に努めます。また、令和7年度から生涯学習センター・公民館の運営を指定管理者が行うことで、市民の学習活動機会の拡充や、より効率的・効果的な施設運営を目指します。

③ 図書館の整備・充実

- ◆ 市民の教養、調査、娯楽等に資するため、図書館資料の収集、整理、保存に努めるとともに、県立図書館などとの緊密な相互協力を図ることにより、図書館事業の充実・拡充を図ります。

(3) 郷土の歴史・文化の継承と活用

① 深谷が誇る歴史・文化の保存・継承と活用

- ◆ 市内に所在する各種文化財に関する基礎調査を実施し、適切な保存策を講じ、その活用を図ります。また、史跡や建造物などの文化財の整備を図るとともに、その歴史的景観の保存に努めます。
- ◆ 市内で実施される各種開発行為に対して、所在する埋蔵文化財の保護のため、発掘調



査などの記録保存を図るとともに、重要な遺構・遺物が発見された場合には、その保護措置を講じます。

- ◆ 市内に残る伝統芸能について、各保持団体の後継者育成や発表・公演活動に関して支援を行うとともに、市民に対して活動内容を広報します。
- ◆ 各種文化財を利用した展示活動や小冊子の発行などを通じて、市内の文化財に関する情報の提供を図り、市民の文化財保護意識の高揚に努めます。同時に学校教育との連携を図り、学童の文化財保護意識の高揚にも努めます。
- ◆ 先人の調査・研究を進め郷土意識の高揚を図ります。

② 市民が行う文化芸術活動の支援

- ◆ 芸術活動の推進や文化事業などを開催し、文化を大切にする心を育てるとともに、文化・芸術活動の充実を図り、文化・芸術水準の向上を目指します。
- ◆ 地域の特色を生かした文化活動を幅広く推進します。
- ◆ 文化団体の発表や交流を進めるとともに、支援を行います。
- ◆ 美術品の收藏や展示公開を図り、市民への芸術活動の奨励に努めます。



3. 公民館・文化会館・渋沢栄一記念館紹介

(1) 公民館

深谷市深谷生涯学習センター・深谷公民館

所在地 〒366-0822 深谷市仲町 20 番 2 号
TEL 571-0506 FAX 574-8487

館 長 飯 野 勇 人

副館長 内 田 研

副館長 竹 内 章 公



公民館運営審議会委員	15 人
体 育 部 員	40 人
教 養 部 員	15 人

1. 現 況

敷地面積	5,449.72 m ²
建物延面積	2,644.22 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建 (一部鉄骨構造)
竣 工	平成18年 3 月
開 設 年 月	昭和22年 9 月
管 内 人 口	16,973 人
管内世帯数	8,156 世帯

2. 運営方針

「元気と笑顔の生産地 ふかや」を目指す深谷市の将来都市像に基づいて、健康で人間性豊かな市民の育成と心の通いあう文化の香り高いまちづくりを推進し、地域生活の向上と生活文化の向上、地域連帯の強化に努めます。

- ・豊かな心と、高い知性を育みます。
- ・道徳心を養い、誠実な人間性を育みます。
- ・郷土を愛する心と、地域の連帯を育てます。
- ・伝統を生かし、香り高い文化を育てます。

深谷市藤沢生涯学習センター・藤沢公民館

所在地 〒366-0811 深谷市人見1967番地 1
TEL 571-0345 FAX 574-5862

館 長 植 竹 敏 夫

副館長 大 澤 弘 明

副館長 飯 野 誠



公民館運営審議会委員	12 人
体 育 部 員	56 人
教 養 部 員	46 人

1. 現 況

敷地面積	9,867.17 m ²
建物延面積	2,581.76 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建
竣 工	平成15年 3 月
開 設 年 月	昭和29年 4 月
管 内 人 口	10,047 人
管内世帯数	4,329 世帯

2. 運営方針

個性と生きがいを育む教育・文化の環境づくりを推進するため、地域住民の生涯学習とコミュニティづくりの中心施設として、次の項目を重点に各種の事業を展開し、公民館の社会的使命を果たすように努めます。

- ・生涯学習機会の提供と啓発に関する事業
- ・青少年の学習と活動に関する事業
- ・女性の学習と活動に関する事業
- ・高齢社会に対応する事業
- ・人権尊重意識の高揚に関する事業
- ・自治能力の向上に関する事業
- ・健康の増進と生涯スポーツの推進に関する事業

深谷市幡羅生涯学習センター・幡羅公民館

所在地 〒366-0041 深谷市東方1370番地

TEL 575-1411 FAX 575-1441

館長 高橋桂子

副館長 浅見幹男

副館長 森清



公民館運営審議会委員	14人
体育部員	22人
文化教養部員	22人

1. 現況

敷地面積	15,224.34 m ²
建物延面積	2,727.42 m ²
構造	鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建
竣工	平成7年1月
開設年月	昭和29年12月
管内人口	20,614人
管内世帯数	9,181世帯

2. 運営方針

社会教育法第20条の主旨に基づき、その実現に努力し、深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けながら同時に深谷市公民館条例及び同施行規則を守り、諸事を遂行します。

- ・親しまれる公民館の運営
- ・地域住民の生涯学習への関心を高め、時代に即応した生涯学習の推進
- ・地域の教育文化の向上、スポーツの振興
- ・3つの運動（脱いだ靴をそろえる・ことばを大切にすること・すすんであいさつをする）の推進
- ・地域住民の連帯意識、郷土愛の高揚
- ・住民の人権教育に対する正しい理解と認識を深め、思いやり、助け合いの啓発

深谷市明戸生涯学習センター・明戸公民館

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼256番地

TEL 571-0872 FAX 574-5864

館長 三ツ橋正記

副館長 嶋田喜好

副館長 小林多喜男



公民館運営審議会委員	14人
体育部員	15人
文化部員	15人

1. 現況

敷地面積	6,103.65 m ²
建物延面積	2,179.74 m ²
構造	鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨造）
竣工	平成19年12月
開設年月	昭和29年7月
管内人口	4,128人
管内世帯数	1,854世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、明戸地区の実情に即した施策を行うため、関係機関・団体との連携を密にし、地域住民のニーズを的確に把握し、住民が自主的・積極的に参加できる事業の実施に努めます。また、地域住民に親しまれ、生涯学習、地域振興の拠点となる公民館を目指します。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・地域住民の連帯感を深め、地域づくり活動の推進

深谷市大寄生涯学習センター・大寄公民館

所在地 〒366-0837 深谷市起会84番地 1
TEL 571-0341 FAX 574-5865

館長 小嶋達夫
副館長 木村芳夫
副館長 園部薫



公民館運営審議会委員 15人
体育部員 19人
文化部員 23人

1. 現況

敷地面積 7,172.75 m²
建物延面積 1,567.81 m²
構造 鉄筋コンクリート造2階建
竣工 平成11年8月
開設年月 昭和26年10月
管内人口 2,965人
管内世帯数 1,278世帯

2. 運営方針

大寄地域住民が郷土に対しての想いを更に高め、他に誇れるふるさとづくりに専念できるよう、また、生涯学習や地域活性化等の事業推進拠点として、地域住民に親しまれる公民館運営に努めます。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進
- ・健康増進と生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
- ・3つの運動（脱いだ靴をそろえよう・すすんであいさつをしよう・ことばを大切にしよう）の推進

深谷市八基生涯学習センター・八基公民館

所在地 〒366-0002 深谷市下手計1204番地
TEL 598-7757 FAX 587-1101

館長 吉岡優孝
副館長 塚原広雄
副館長 関野好行



公民館運営審議会委員 14人
体育部員 15人
教養部員 15人

1. 現況

敷地面積 4,254.83 m²
建物延面積 2,232.75 m²
構造 鉄筋コンクリート鉄骨造2階建
竣工 平成7年11月
開設年月 昭和26年4月
管内人口 3,332人
管内世帯数 1,458世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会重点施策を受けて、八基地区の実情に即した施策を行うため、学校及び関係機関、関係団体との連携を密にし、施策を立案するものとします。公民館運営においては住民が公民館活動に自主的・積極的、気軽に参加することが出来るような公民館の実現を目指し、次の事項を重点的に推進します。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進
- ・スポーツ・レクリエーション活動の振興
- ・家庭・地域の教育力の向上
- ・郷土の偉人 渋沢栄一翁の遺徳顕彰の促進

深谷市豊里生涯学習センター・豊里公民館

所在地 〒366-0019 深谷市新戒639番地1

TEL 587-2111 FAX 587-1367

館長 飯塚 勤

副館長 茂木 房治

副館長 八ツ田 広治



公民館運営審議会委員	14人
体育部員	15人
文化教養部員	12人

1. 現況

敷地面積	6,068.00 m ²
建物延面積	2,069.18 m ²
構造	鉄筋コンクリート造2階建
竣工	平成5年3月
開設年月	昭和62年6月
管内人口	3,903人
管内世帯数	1,716世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、豊里地区の実情に即した施策を行うため、学校及び関係機関・団体と連絡を密にし、住民が公民館活動に自主的・積極的に参加するよう呼びかけ、気軽に出入りすることのできるような公民館の実現を目指し、次の事項について重点的に推進します。

- ・生涯学習の推進
- ・人権教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・あいさつ先手運動、脱いだ靴を揃える運動、ことばを大切にしよう運動の推進

深谷市上柴生涯学習センター・上柴公民館上柴地区複合施設(キララ上柴)

〒366-0052 深谷市上柴町西4丁目2番地14

TEL 572-9001 FAX 574-5868

館長 田高 博

副館長 金井 好照

副館長 笠原 誠



公民館運営審議会委員	14人
体育部員	46人
文化部員	46人

1. 現況

敷地面積	10,544.36 m ²
建物延面積	1,910.78 m ² (共有部分を除く)
構造	鉄骨造3階建 (3階部分)
竣工	平成22年11月
開設年月	昭和57年6月
管内人口	17,814人
管内世帯数	8,482世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受け、地区の実情に即した施策を行うために、関係機関及び学校や各種団体と連絡を密にし、地域住民のニーズを的確に把握し、住民が自主的・積極的に参加できる事業の実施に努めます。また、地域住民に親しまれ、生涯学習、地域振興の拠点となる公民館を目指します。

- ・生涯学習の推進
- ・人権教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・地域住民の連帯感を深め、地域づくり活動の推進

深谷市南生涯学習センター・南公民館

所在地 〒366-0810 深谷市宿根 645 番地 1

TEL 575-5550 FAX 575-5560

館 長 吉 岡 和 弘

副館長 中 野 初 夫

副館長 新 鎧 省 一



公民館運営審議会委員	15 人
体 育 部 員	24 人
文 化 教 養 部 員	24 人

1. 現 況

敷地面積	7,920.00 m ²
建物延面積	2,265.49 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建
竣 工	平成10年10月
開 設 年 月	平成10年10月
管 内 人 口	17,911 人
管内世帯数	8,565 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受け、南地区の実情に即した施策を行うために、関係機関及び学校や各種団体と連絡を密にし、地域住民の公民館活動への積極的な参加を呼びかけ、世代間交流の場とし、公民館と地域住民が一体となって開かれた公民館づくりを目指した運営を図ります。

- ・花を活かした地域づくり
- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育の推進
- ・地域の連帯意識の醸成・郷土愛の高揚
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・青少年の健全育成の推進

深谷市岡部生涯学習センター・岡部公民館

所在地 〒369-0203 深谷市普済寺 1626 番地 3

TEL 585-4974 FAX 585-4890

館 長 田 嶋 英 生

副館長 小 林 富 治

副館長 小 暮 隆



公民館運営審議会委員	12 人
体 育 部 員	46 人
教 養 部 員	38 人

1. 現 況

敷地面積	12,831.19 m ²
建物延面積	3,126.23 m ²
構 造	鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 2 階建て
竣 工	令和元年 10 月
開 設 年 月	昭和 53 年 7 月
管 内 人 口	17,853 人
管内世帯数	7,882 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、住みよい地域づくりを推進するため、関係機関・団体と連絡を密にし、生涯学習活動の地域拠点施設として、地域住民に親しまれ支えられる公民館を目指し、その実現のため地域ぐるみの社会教育活動を推進します。

- ・教養情操の事業の推進
- ・体育・レクリエーション事業の推進
- ・家庭教育事業の推進

深谷市川本生涯学習センター・川本公民館川本地区複合施設（ワモア川本） 館 長 吉 田 稔
 所在地 〒369-1104 深谷市菅沼 401 番地 副館長 浅 見 知 子
 TEL 583-3234 FAX 583-3267 副館長 松 村 芳 巳



公民館運営審議会委員 14 人
 体 育 部 員 43 人
 教 養 部 員 42 人

1. 現 況

敷地面積 14,871.85 m²
 建物延面積 4,049.76 m²
 構 造 鉄骨造 2 階建て一部鉄筋コンクリート造
 竣 工 令和 6 年 3 月
 開設年月 昭和 5 9 年 9 月
 管内人口 11,349 人
 管内世帯数 4,973 世帯

2. 運営方針

本市の将来都市像「元気と笑顔の生産地 ふかや」に基づいて健康で心豊かな市民の育成と文化の香り高いまちづくりを推進し、生活文化の向上、地域連帯感の強化に努めます。

- ・生涯学習の推進
- ・地域住民との連携・郷土愛の醸成
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・青少年健全育成の推進
- ・人権教育の推進

深谷市花園生涯学習センター・花園公民館 館 長 小 林 毅
 所在地 〒369-1246 深谷市小前田 2345 番地 1 副館長 番 場 利 州
 TEL 584-2184 FAX 584-2394 副館長 倉 上 育 与



公民館運営審議会委員 15 人
 体 育 部 員 36 人
 教 養 部 員 33 人

1. 現 況

敷地面積 9,265.82 m²
 建物延面積 2,727.92 m²
 構 造 鉄筋コンクリート造
 一部鉄骨造 2 階建
 竣 工 平成 25 年 12 月
 開設年月 昭和 31 年 9 月
 管内人口 13,529 人
 管内世帯数 6,091 世帯

2. 運営方針

地域住民の出会いの場・ふれあいの場・学びの場として、地域づくりや生涯学習の拠点として、特色のある地域づくりや地域コミュニティを推進するため、関係する各種団体等との連携を図りながら、次の項目を重点に各種事業を展開していきます。

- ・生涯学習事業の充実
 （生涯学習の推進、学習機会の提供、学習効果の還元）
- ・地域住民との連携
 （自治会やボランティアとの連携）
- ・人権を尊重する心豊かな人づくりの推進
 （人権意識の高揚）
- ・家庭・学校・地域の連携を強化、及び青少年健全育成活動の充実
 （家庭教育学級の充実、さまざまな活動の機会と場の提供、子どもを育てる地域づくりの支援）
- ・広報活動等の充実
 （広報活動の積極的な推進、学習情報の提供）

(2) 文化会館

深谷市民文化会館

所在地 〒366-0823 深谷市本住町 17 番 1 号

TEL 573-8765 FAX 573-8769



1. 現 況	
敷地面積	13,987.5 m ²
建物延面積	6,061.31 m ²
竣 工	昭和56年 9 月
開 館	昭和56年11月
大 ホ ー ル	1,164 席 (固 定 席1,018席、移動席 146席) (車椅子スペース 4 席、母子席 6 席)
小 ホ ー ル	324 席 (固定席のみ、車椅子スペース 4 席)
楽 屋	大ホール 5 室 小ホール 2 室
リハーサル室	1 室 (63 m ²)
練 習 室	3 室 (第1 79 m ² 、第2 56 m ² 、第3 35 m ²)
展 示 室	1 室 (239 m ²)

深谷市花園文化会館 アドニス

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 2966 番地

TEL 584-6125 FAX 584-6128



1. 現 況	
敷地面積	12,316.00 m ²
建物延面積	2,440.20 m ²
竣 工	平成 4 年 8 月
開 館	平成 4 年 10 月
大 ホ ー ル	716 席 (固定席711席、車椅子スペース3席、母子室2席)
集会室 1・2	1 室 (約 200 人収容 207 m ²)
楽 屋	2 室
談 話 室	1 室 (約 20 人収容 16 畳)
ボランティアビューロー	1 室 (12 人収容 24 m ²)

(3) 渋沢栄一記念館

※渋沢栄一記念館については、令和2年度から
渋沢栄一政策推進部(市長部局)の所管となりました。

渋沢栄一記念館

館 長 栗 田 誠

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1204 番地

TEL 587-1100 FAX 598-4331



1. 現 況

敷地面積	4,254.83 m ²
建物延面積	2,232.75 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造2階建
竣 工	平成7年11月
開 設 年 月	平成7年11月

2. 運営方針

渋沢栄一記念館の体制を整備するとともに、展示内容の充実を検討し、情報の収集と発信に努めるため、次の事項を重点的に推進します。

- ・渋沢栄一顕彰の推進
- ・常設展示や企画展示の開催
- ・渋沢栄一関連資料や情報の収集
- ・作品解説や観光案内など来場者の受入体制の充実
- ・八基地区内「論語の里」の中核施設として団体との協働事業によるにぎわいの創出
- ・旧渋沢邸「中の家」および「尾高惇忠生家」の管理運営

4. 令和7年度推進事業一覧（公民館事業を含む）

教養・情操的事業	パソコン教室、和菓子作り体験教室、手打ちそば教室、手づくり味噌講座、人権問題研修会、人権問題講座、木工教室、料理教室、いきいき長寿の集い、手工芸教室、ガーデニング教室、高齢者健康教室、健康教室、お月見コンサート、蛍の観賞会、しめ縄飾り教室、フラワーアレンジメント教室、ふかや市民大学、子ども大学ふかや、福寿草大学、いきいきコミュニティカレッジ、キムチ作り教室、民謡教室、絵手紙教室、茶道講座、スマホ安全教室、幸齢者学級、終活セミナー、歌声サロン、子ども料理教室、藍染教室、絵画教室、七夕まつり、陶芸教室 等
芸術・文化的事業	渋沢栄一翁史跡めぐり、歴史めぐり、歴史講座、企画展覧会、優秀映画鑑賞推進事業、美術品収蔵事業、土器作り教室、どつき土器歴史教室、畠山重忠顕彰事業、文化財展示事業、史跡特別公開、史跡めぐり等、歴史探訪、あさがお展、菊花展、さつき展、フウリン草展、青淵翁を偲ぶ「にぼうと会」、多肉植物寄せ植え教室、美術盆栽展 等
体育・レクリエーション事業	ヨガ教室、地区市民体育祭、分館対抗野球大会、分館対抗ソフトボール大会、分館対抗グラウンド・ゴルフ大会、分館対抗バレーボール大会、マグダーツ大会、世代間交流輪投げ大会、ゲートボール大会、少年野球大会、シルバーゼミナール、歩け歩け大会、高齢者スポーツ大会、ふれあいハイキング、ローンボウルズ教室、公民館まつり、芸能祭、納涼祭、世代間交流事業、健康体操教室、ふかやシティハーフマラソン、少年少女マラソン大会、卓球大会、スキー教室、ふっかちゃんわくわく市民ウォーキング、深谷アスリートクラブ事業、市民ランニング教室、小学校水泳教室、ミニバス大会、ジュニアバレー大会、母集団研修 等
家庭教育・青少年健全育成事業	子ども映画会、生物研究学習、家庭教育学級、科学体験、夏休み子供お楽しみ会、親子バスハイク、もちつき会、子ども教室、昔の遊び教室、小学生作品展、中学生作品展、親の学習、夏宿〜ル・オアシス、がんばル〜ム、靴を揃える運動、あいさつ先手運動、ことばを大切にしよう運動、親子体操教室、青少年学級、子育てサロン、サケ放流、青少年健全育成講演会、ポスター展、親子料理教室、十日夜、まゆ玉作り、夏休みわんぱくランド、子ども郷土かるた大会、小学生絵画教室、放課後子ども教室、おはなし会、体験教室 等
その他事業	明るい選挙話し合い講座、公民館利用調整会議、花の郵便屋さん、公民館等花壇植栽除草作業、公民館運営審議委員会、公民館だより、事業所訪問、公民館の花植え、防犯パトロール、防災訓練 等



(1) 令和6年度事業別状況

(単位：人)

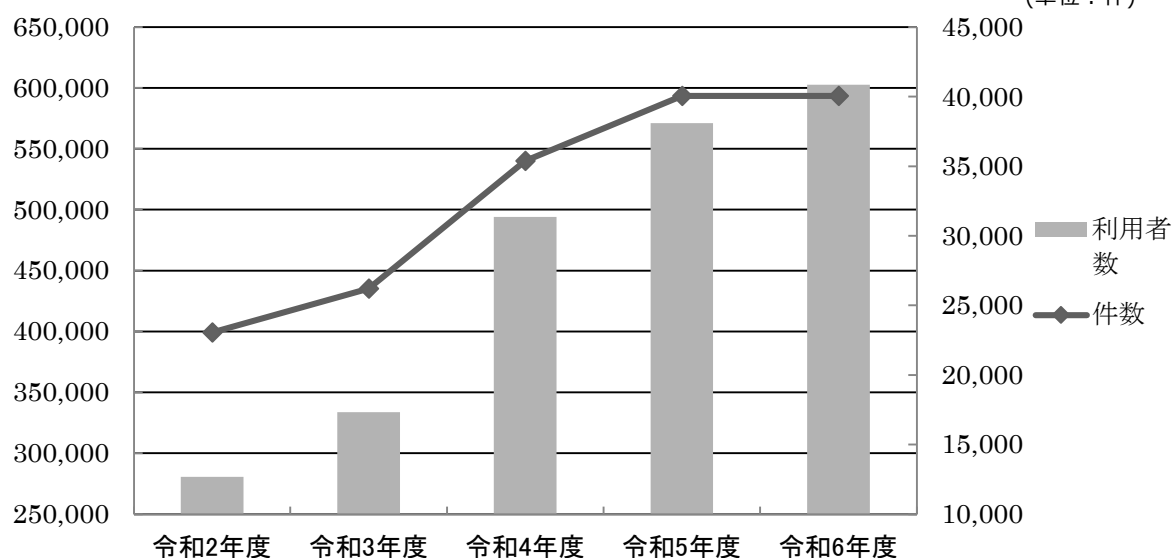
区 分	生涯学習スポーツ振興課 文 化 振 興 課		公 民 館		合 計	
	参 加 者 数	延 人 数	参 加 者 数	延 人 数	参 加 者 数	延 人 数
教 養 ・ 情 操 的 事 業	97	1,396	16,074	16,172	16,171	17,568
芸 術 ・ 文 化 的 事 業	6,203	6,203	9,357	9,357	15,560	15,560
体育・レクリエーション事業	17,650	19,992	18,265	18,265	35,915	38,257
家庭教育・青少年健全育成事業	2,654	9,896	3,931	3,966	6,585	13,862
文化財保護事業	4,500	4,515	-	-	4,500	4,515
文化財施設見学 (中の家・誠之堂・清風亭等)	125,529	125,529	-	-	125,529	125,529
渋沢栄一記念館見	153,278	153,278	-	-	153,278	153,278
そ の 他	0	0	16,104	16,131	16,104	16,131
合 計	308,798	319,696	63,731	63,891	373,642	384,700

(2) 利用状況

① 年度別生涯学習センター、公民館利用の推移

(単位：人)

(単位：件)



件 数 (件)	23,056	26,206	35,378	40,043	40,058
利用者数 (人)	280,572	333,565	493,942	571,206	602,520

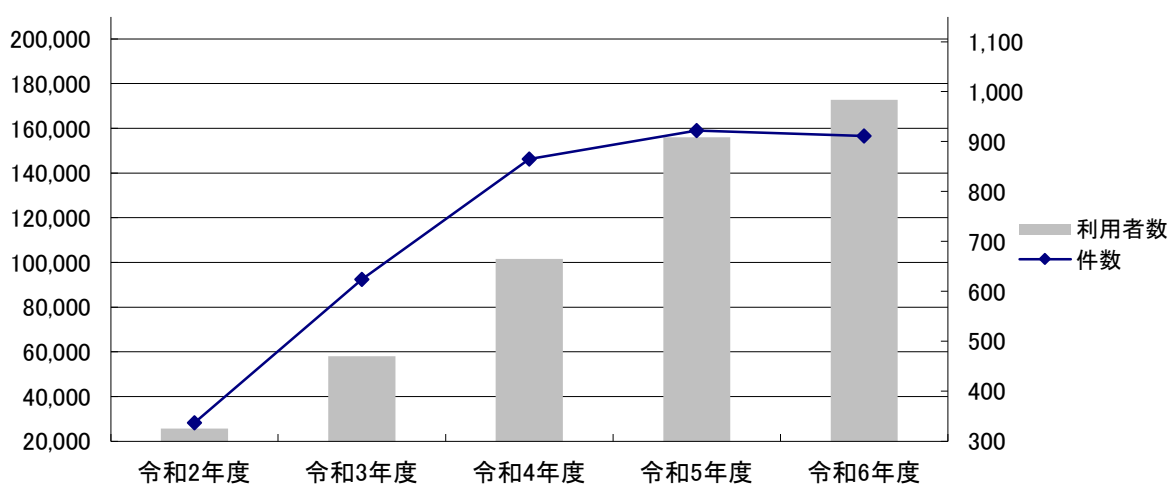
② 令和6年度公民館別利用状況

	深谷 公民館	藤沢 公民館	幡羅 公民館	明戸 公民館	大寄 公民館	八基 公民館
件数(件)	5,174	3,408	3,995	1,644	2,045	1,144
利用者数(人)	76,776	51,002	51,374	23,075	22,857	17,877
	豊里 公民館	上柴 公民館	南 公民館	岡部 公民館	川本 公民館	花園 公民館
件数(件)	1,371	7,036	3,513	4,294	3,353	3,081
利用者数(人)	22,233	94,306	53,745	79,139	64,942	45,194

③ 年度別文化会館利用状況（市民文化会館）

(単位：人)

(単位：件)

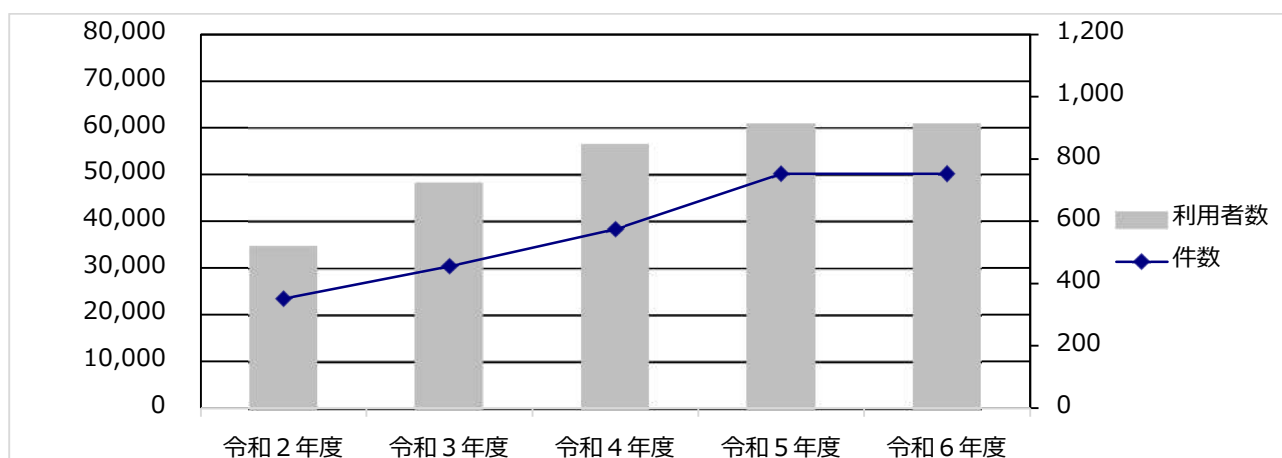


件数(件)	377	624	865	922	911
利用者数(人)	25,689	58,064	101,640	156,007	172,810

④ 年度別文化会館利用状況（花園文化会館アドニス）

(単位：人)

(単位：件)



件数(件)	518	722	845	912	911
利用者数(人)	23,462	30,331	38,279	50,197	50,208

5. 重要文化財など

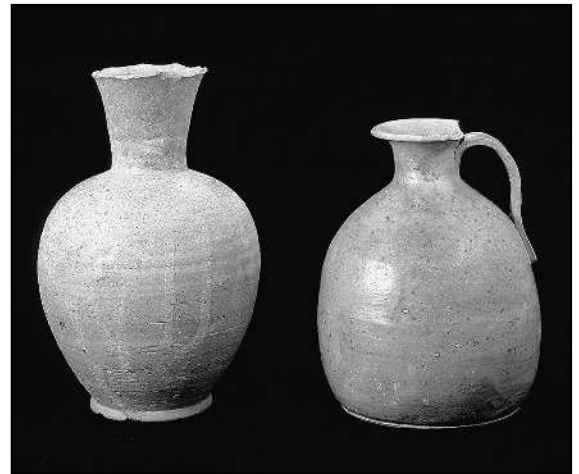
①緑釉手付瓶 附 灰釉瓶

榛沢地区の西浦北遺跡4号住居跡から出土した緑釉手付瓶は、並んで発見された灰釉瓶とともに昭和61年6月に国の重要文化財に指定されました。

緑釉手付瓶とは、窯入れされ、熱を受けると緑色に変化する釉薬が塗られた焼き物で、把手が付いていることが大きな特徴と言えます。完形品としては全国的にみても数少ない例です。

緑釉手付瓶の製作地は、古代の窯跡として名高い尾張国猿投窯（愛知県名古屋市）であり、製作された年代は、9世紀後半と考えられます。

東京国立博物館（平成館）に貸し出されています。



灰釉瓶

緑釉手付瓶

②日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設

平成9年5月に、国の重要文化財に指定された日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設は、旧事務所（日本煉瓦史料館）、ホフマン輪窯6号窯、旧変電室、備前渠鉄橋からなっています。

県内の重要文化財建造物としては21件目。近代化遺産の重要文化財としては、全国で5件目。県内では初めてです。

日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設には、煉瓦焼成のための優れた構造を有したホフマン輪窯を中心として、工場の周辺建造物および日本最初の専用鉄道施設がそろって残ります。この工場で作られた煉瓦は、東京駅をはじめとする東京の主要な建築に用いられたことが分かっており、本施設は、我が国の近代化の礎をなした施設として重要です。特に6号窯は、現在国内に残る数少ないホフマン輪窯のうちで最も規模が大きく代表的なものとして価値が認められます。

◆日本煉瓦製造株式会社設立の経緯

日本煉瓦製造株式会社（当時日本煉瓦製造会社）が創立された当時、明治政府は、諸外国と結んだ不平等条約を改正するため、帝国議会の開設が急務となっていました。

そのためには国会議事堂をはじめとする洋風官庁街の建設が必要であり、明治政府は、明治19年に臨時建築局を設立して日比谷に諸官庁を集める「官庁集中計画」に踏み切りました。日本煉瓦製造株式会社は、明治政府が必要とした大量の煉瓦を供給するために、渋沢栄一、池田栄亮、益田孝の3人が中心となって明治20年（1887）に設立されました。工場の建設場所は、ドイツ人建築技師ベックマンおよびドイツ人煉瓦技師チーゼラの指導のもとに行われた調査の結果、良質の原土を産出し、利根川と通じて東京への輸送が可能な土地として上敷免の地が選定されました。

・旧事務所

旧事務所は、明治21年頃に建設、「異人館」と呼ばれていたように、ドイツ人技師ナスチェンテス・チーゼとその令嬢が明治22年にドイツに帰国するまで住宅兼事務所として使用していました。帰国後は会社の事務所、昭和53年からは史料館として活用されました。

簡素なデザインを備えており、明治初期の洋風建築の特色がよく表れています。



・ホフマン輪窯 6号窯

ホフマン輪窯 6号窯は、明治40年に建設され、昭和43年に操業を停止しました。その全体は、18の焼成室に分かれ、月産生産高65万個の煉瓦が製造されたといえます。



・旧変電室

旧変電室は、明治39年の電灯線の架設時に建設されました。屋根や窓など多少の改修はあったものの、建設時と変わらない姿のまま保存されています。

・備前渠鉄橋

備前渠鉄橋は、明治28年に日本煉瓦専用線が備前渠を通るために架設された鉄橋です。橋の南側には、鉄橋の西側近傍で備前渠から分岐する水路を越えるための煉瓦アーチ橋が附属します。昭和58年に深谷市に寄附され、現在は遊歩道となりレールなどが取り払われているものの、往時の姿をよくとどめています。



③誠之堂（重要文化財）・清風亭（埼玉県指定有形文化財）

「誠之堂」は平成15年5月30日に国の重要文化財に指定され、また「清風亭」は平成16年3月23日に、埼玉県指定有形文化財に指定されています。これらの建物は、渋沢栄一により創設された日本初の銀行、「第一国立銀行」の後身である第一銀行（現みずほ銀行）が現在の東京都世田谷区に所有していた保養施設「清和園」の敷地内に建てられていました。

当時は、一般には公開されていませんでしたが、建築学者や建築関係者の間では、いずれの建物も、大正時代を代表する建築物として、日本の西洋建築史上、重要な位置を占める建築物として知られていました。

平成9年9月、これらの建物が取り壊しの危機に瀕したのをきっかけとして保存運動が起きました。ともに深谷市出身の渋沢栄一にゆかりのある建物であったことから、深谷市が譲り受けることとなりました。

このような文化的価値の高い建物、特に煉瓦建造物の移築は、深谷市に限らず日本でも初めてといえる試みであったため、日本建築学界の第一人者である鈴木博之東京大学教授や藤谷陽悦日本大学助教授、日本建築家協会保存検討委員会委員長である兼松紘一朗氏（職名はいずれも当時）を迎えて、市関係者を交えた移築保存検討委員会を設置し、移築方法の検討を重ねました。

検討の結果、移築場所は、当時新築が計画されていた大寄公民館敷地内と決められました。移築・復原工事は、建築を行った「清水組」の後身である清水建設株式会社が担当し、日本建築に多く見られる「大ばらし」を応用する日本初の工法により、工事が実施されました。

約2年間の移築・復原工事を経て、誠之堂・清風亭は平成11年11月11日に落成式を迎えました。

深谷市では、これらの建物を保存・活用することを目的として「深谷市誠之堂・清風亭条例」を制定し、広く公開しています。



移築された誠之堂（右）・清風亭（左）

※詳細は「誠之堂・清風亭」のホームページをご覧ください。

誠之堂・清風亭：https://www.city.fukaya.saitama.jp/kanko/kanko/seisido_seifutei/1391497434025.html

④鹿島古墳群（埼玉県指定史跡）

川本地区本田の荒川に沿った台地に、100 基を越す古墳が分布します。終末期の古墳群として知られ、径 10 メートル～20 メートルほどの小規模円墳で構成されますが、方墳も見つかっています。胴張型石室を特徴とし、埴輪が出土する古墳は少数です。この古墳のうち川寄りの 56 基について、埼玉県指定史跡として東西 800 メートルにわたり保存整備されました。



⑤中宿古代倉庫群跡（埼玉県指定史跡）

中宿遺跡の発掘調査は、平成 3 年の第 1 次調査以降、7 次にわたり実施されています。遺跡は、櫛挽台地の北端に位置し、奈良～平安時代の大規模な建物群 22 棟が発見されています。

これら建物群の基礎部分は、高床式倉庫に特徴的な構造を有することから、古代榛沢郡の正倉に相当する施設と考えられます。正倉とは、税として徴収された稲を収納する公的な倉庫であり、古代の郡単位で設置されています。

第 1 次調査終了後、埼玉県で初めての発見例として、その調査範囲全域が中宿古代倉庫群跡として埼玉県の史跡に指定されました。現在は、約 7000 平方メートルの範囲が史跡として保存・活用されています。写真は、発見された建物跡のうち、最も規模の大きい 1 号建物跡と 2 号建物跡について上部構造の復元を行ったものです。



2 号建物（奥） 1 号建物（手前）

⑥畠山重忠墓（埼玉県指定史跡）

武蔵武士畠山重忠は、鎌倉幕府の重臣として知られます。

重忠は、川本地区畠山出身といわれ、畠山館跡に残る大型の五輪塔6基が「畠山重忠墓」として大正13年に埼玉県史跡に指定されました。

五輪塔は、凝灰岩製で鎌倉時代の特徴をもち、中でも高さ1.8メートルの中央の五輪塔が畠山重忠の墓といわれます。現在は、覆屋の中に保存されています。



⑦渋沢栄一生地（埼玉県指定旧跡）、旧渋沢邸「中の家」・尾高惇忠生家（深谷市指定史跡）

『旧渋沢邸「中の家」』は、明治28年上棟の養蚕農家住宅で、渋沢栄一の妹夫婦によって建てられました。主屋のほかに、副屋、土蔵、正門、東門が建ち、当時の北武蔵における養蚕農家屋敷の形をよくとどめています。栄一は、多忙の合間も時間をつくり年に数回はこの家に帰郷しました。東京飛鳥山の栄一の私邸は、空襲によって焼失したため、この家は現在残る栄一が親しく立ち寄った数少ない場所といえます。

「尾高惇忠生家」は江戸時代後期に建てられたと伝わっています。尾高惇忠は富岡製糸場の初代場長となった人物であり、渋沢栄一の従兄にあたります。

教育者として渋沢栄一の影響・学問に大きく影響を与えました。幕末においては、この建物内で渋沢栄一をはじめとする憂国の志士たちによって、挙兵の密議が行われました。



旧渋沢邸「中の家」



尾高惇忠生家

6. 深谷市内所在文化財など件数一覧

(令和7年4月1日現在)

種 別	国 指 定 な ど			埼 玉 県 指 定		深 谷 市 指 定		合 計	
	種 類		件 数	種 類		件 数	種 類		件 数
有 形 文化財	重 要 文化財	建 造 物	2	建 造 物	2	建 造 物	15	19	
		絵 画		絵 画	1	絵 画	22	23	
		彫 刻		彫 刻	2	彫 刻	19	21	
		工 芸 品		工 芸 品	1	工 芸 品	20	21	
		書跡・典籍・古文書		書跡・典籍・古文書	2	書跡・典籍・古文書	35	37	
		考 古 資 料	1	考 古 資 料	1	考 古 資 料	34	36	
		歴 史 資 料		歴 史 資 料	1	歴 史 資 料	13	14	
	小 計		3	小 計	10	小 計	158	171	
	登 録 有 形 文 化 財		14						14
	小 計		14						14
民 俗 文化財	重要有形民俗文化財			有 形 民 俗 文 化 財		有 形 民 俗 文 化 財	18	18	
	重要無形民俗文化財			無 形 民 俗 文 化 財	1	無 形 民 俗 文 化 財	25	26	
	小 計		0	小 計	1	小 計	43	44	
記念物	史 跡		1	史 跡	7	史 跡	42	50	
	名 勝			名 勝		名 勝	2	2	
	天 然 記 念 物			天 然 記 念 物		天 然 記 念 物	3	3	
				旧 跡	5			5	
	小 計		1	小 計	12	小 計	47	60	
合 計			18		23		248	289	

その他 ○埼玉県選定重要遺跡 11件

※詳細は「深谷市の歴史と文化財」のホームページをご覧ください。

深谷市の歴史と文化財：https://www.city.fukaya.saitama.jp/rekishi_bunkazai/index.html

Ⅳ 図 書 館

1. 施設の概要

外観				
	深谷市立図書館	深谷市立上柴図書館	深谷市立岡部図書館	
	所在地	深谷市仲町 19 番 3 号	深谷市上柴町西 4 丁目 2 番地 14	深谷市普済寺 1626 番地 3
	延床面積	2,290.94 m ²	303.41 m ²	363.96 m ²
	竣工	平成 2 年 11 月	平成 22 年 11 月	令和元年 10 月
開設年月	昭和 29 年 7 月	平成 31 年 4 月	昭和 53 年 11 月	
外観				
	深谷市立川本図書館	深谷市立花園こども 情報交流図書館		
	所在地	深谷市菅沼 401 番地		深谷市小前田 1463 番地 2
	延床面積	377.42 m ²		498.83 m ²
	竣工	令和 6 年 4 月		平成 17 年 3 月
開設年月	平成 3 年 4 月	昭和 55 年 6 月		
開館時間	深谷・上柴・岡部・川本図書館・・・午前 9 時～午後 7 時 花園図書館・・・・・・・・・・午前 10 時～午後 7 時			
休館日	・毎週月曜日（祝休日の場合は開館し、翌日が休館） ※上柴・岡部・川本図書館を除く。 ・館内整理日（毎月第 2 金曜日。祝休日または他の休館日にあたるときは、第 3 金曜日。特別整理期間のある月は館内整理日はありません。） ・春と秋の特別整理期間、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）			
ホームページ	https://www.lib.city.fukaya.saitama.jp			

2. 図書館運営の基本方針

図書館は、生涯学習の場として、市民の知る権利、学習する権利を保障するため、図書、記録その他必要な資料を収集、整理、保存します。県立図書館や他の公共図書館等とのネットワークを活用し、緊密な相互協力のもとに効果的な奉仕活動を展開します。また、読書活動の支援及び情報提供能力を強化することにより、市民の福祉の向上や文化教養の醸成に寄与します。

○重点目標

(1) 図書館機能の充実

- ① 生涯学習の拠点として、各館で利用者ニーズに合わせた幅広い領域の図書館資料の整備

(2) 読書活動の促進

- ① おはなし会や各種講座の開催など、各世代での読書活動の推進
- ② 第3次深谷市子供読書活動推進計画に基づく子供の読書活動の推進

3. 業務の概要

(1) 資料管理

① 図書館の取り扱う資料（図書館資料）

図書	一般	一般書、参考図書、郷土資料
	児童	児童書、絵本、紙芝居
逐次刊行物		新聞、雑誌
視聴覚資料		DVD、CD、ビデオテープ、カセットテープ
バリアフリーサービス資料		音声デイジー資料、マルチメディアデイジー資料、デイジー再生機器、朗読CD、点字資料、大活字本、布の絵本、LLブック、点訳絵本

② 所蔵資料の充実

市販されている資料を選書し購入します。寄贈本も受け入れます。また、子供向けの図書資料や新聞資料などの充実を図ります。

③ 管理保存

図書館資料は書架に配置して管理保存します。書架は、利用者が自由に資料に接することのできる開架書架とその立ち入りを禁じる閉架書架に分けます。さらに、開架書架は資料の分類に応じてコーナーごとに配置します。

④ 図書の配列

利用者の利便性を考慮しながら、原則として日本十進分類法（N D C）に準じて配架します。なお、「大活字本」、「文庫本」及び「大型絵本」等は、別コーナーに配架します。

⑤ 書架整理

書架上の資料が適切に配置されるよう、常に配慮して配架を調整します。重要な資料や利用頻度の低い資料等は、閉架に保管します。

⑥ 資料整備

現物資料と所蔵データとの不一致をなくすために、照合調査（蔵書点検）を行います。また、欠本や欠号の調査を行います。汚破損資料の補修も行います。

⑦ 除籍

図書館の資料収容能力を考慮し、資料価値が低下した資料や保存年限を経過した資料の除籍を行います。除籍資料のうち再利用できるものはリサイクル本として利用者に提供します。

（２） 利用サービス

① 館内利用

館内での閲覧については基本的には制限を設けません。ただし、視聴覚資料の館内視聴、一部資料の閲覧に際しては、「館内閲覧」の手続きを必要とします。

② 館外利用（貸出）

市内在住・在勤・在学のかたへの資料の館外貸出を行います。広域利用の協定市町の住民等についてはこれに準じます。

③ 予約・リクエスト

貸出中の本や市内他館所蔵の資料は、予約することによって利用することができます。未所蔵の資料については、リクエストを受け付け、購入又は相互貸借により、利用者への提供に努めます。

④ レファレンス

資料調査の希望者には、資料の紹介に努め、その調査活動の支援を行います。

⑤ 文献複写

所蔵資料については、著作権法の定める範囲において実費による複写サービスを行います。

⑥ バリアフリーサービス（障害者サービス）

市内在住・在勤・在学の視覚障害等のあるかたに、デージー資料及びデージー再生機器等の館内・館外貸出を行います。

⑦ 図書郵送貸出

来館利用が困難なかたに、教育委員会の定めるところにより、郵送による貸出サービスを行います。

⑧ インターネット利用

情報化社会に対応し、インターネットに接続できる端末機を設置して利用者に開放します。

⑨ 資料回送

本館及び4分館において資料回送を行い、利用者の身近な図書館へ資料を届けます。

⑩ 赤ちゃんタイム

小さいお子様連れのかたが気兼ねなく図書館を利用できるよう、「赤ちゃんタイム」を設定します。

⑪ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館が所蔵する図書、雑誌、古典籍等の資料の閲覧、複写サービスを行います。

(3) その他

① 相互貸借

図書館サービスの充実を期するため、埼玉県図書館協会に加盟している県内図書館（県立図書館、他の公共図書館、大学図書館等）と、協定に基づき、所蔵資料の相互の貸し借りをを行います。

② 図書館行事

乳幼児を対象とした「おはなし会」や「映画会」を定期的に行います。一般市民向けには「古典文学講座」やボランティア団体との共催による「大人のためのおはなし会」を開催します。また、保健センターと協力しブックスタートとして、4か月児健診時の乳児とその保護者に、絵本「ふっかちゃんとあそぼ」の読み聞かせと絵本のプレゼントを行います。

③ ホームページ

ホームページを活用し、所蔵資料の検索・予約サービス、読書支援サービスの提供を行います。また、読書推進のための各種情報発信を行います。

④ 図書館ボランティアとの協働

「おはなし会」等においてボランティアに活躍してもらうため、絵本の読み聞かせ講座を開催するなど、ボランティアの育成を行います。

⑤ 読書会等の支援

市民の同好者の集まりである読書会等に対しては、読書会資料等の配付、読書講演会等行事の通知及び図書館施設の提供等によって、読書活動の援助を行います。

⑥ 子供読書活動推進計画

市内の保育園、幼稚園、小・中学校を対象に読書活動アンケートを実施し、子供の読書活動の支援に取り組みます。また、子供読書活動推進協議会を開催し、学校等との情報共有を図ります。

4. 分類別蔵書数

(1) 図書資料

(令和7年3月末日現在)

分 類	一般図書	児童図書	郷土資料	合 計	比 率
総記	7,364	1,398	847	9,609	2.4%
哲学宗教	11,333	777	453	12,563	3.2%
歴史・地理	28,433	4,607	6,460	39,500	10.1%
社会科学	38,959	4,790	5,110	48,859	12.5%
自然科学	19,301	8,483	261	28,045	7.1%
工学・家庭	21,679	3,543	736	25,958	6.6%
産業	10,119	2,507	642	13,268	3.4%
芸術・体育	27,601	4,368	1,003	32,972	8.4%
語学・言語	4,051	1,533	519	6,103	1.6%
文学	101,145	30,756	1,191	133,092	34.0%
絵本	—	40,156	—	40,156	10.2%
紙芝居	—	2,157	—	2,157	0.5%
合 計	269,985	105,075	17,222	392,282	100.0%

(2) 視聴覚資料

種 別	C D	ビデオ	D V D	カセットテープ	その他	合 計
資料点数	4,414	2,455	2,170	223	439	9,701

5. 令和6年度利用状況

(1) 利用登録者数

種 別	個 人	バリアフリーサービス	小 計	団 体	相互貸借	合 計
登録者数	49,828	28	49,856	141	145	50,142

(2) 資料別貸出点数

種 別	一般資料	児童図書	郷土資料	視聴覚資料	雑 誌	合 計
個人	219,619	223,912	3,766	11,265	25,021	483,583
バリアフリーサービス	76	1	0	0	11	88
団体・相互	2,586	2,644	51	0	100	5,381
合 計	222,281	226,557	3,817	11,265	25,132	489,052

(3) 視聴覚資料貸出点数内訳

種 別	C D	ビデオ	D V D	カセットテープ	その他	合 計
貸出点数	4,005	187	7,021	5	47	11,265

V 社 会 体 育

1. 社会体育の概要

近年、少子高齢化や情報化など、社会環境の変化が急激に進展し、青少年の健全育成や、心身の健康の保持増進、地域社会の活性化について、スポーツ・レクリエーション活動の果たす役割は重要となっており、市民生活における生涯スポーツを多角的に推進していくことが求められています。

その中では、身近にスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる環境として、本市における活動の拠点となるグラウンドや体育館などの社会体育施設を整備し、利用促進を図っていくことが必要です。

また、多くの市民があらゆる機会をとらえ、自発的にスポーツ・レクリエーション活動を実践できるように、スポーツ推進委員など社会体育関係指導者の育成・充実を図ると共に、スポーツ・レクリエーション団体の活動を支援し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の積極的な推進を図っていくことが重要となっています。

市民一人ひとりの心身の健全な発達と、明るく豊かで活力に満ちた生活を実現するために、健康・体力づくりの奨励や、グループ・サークルなどの自主的活動の促進など社会体育の推進に努めていくものです。

2. 重点施策

スポーツ・レクリエーションの推進

(1) スポーツ・レクリエーションに親しめる環境整備

◆スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

身近な場でスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりを推進するため、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と利用方法の見直しを図ります。

◆指導者の養成

地域におけるスポーツ・レクリエーションの指導者を育てるため、養成講座等を実施し、資質の向上と育成に努めます。また、スポーツ推進委員と連携し、各種大会や教室などへ指導者・講師を派遣します。



(2) スポーツ・レクリエーションを通じた健康・ふれあいづくりの推進

◆スポーツ推進委員との連携の強化

地域住民へのスポーツの推進の役割を担うスポーツ推進委員との連携を強化し、スポーツ・レクリエーション活動の充実を図ります。

◆市民の健康づくりとふれあいの機会の創出

健康促進のため、市民が安全にウォーキングできるようにウォーキングマップを作成し、関連イベントなどを開催することで、ふれあいの場を設けます。また、みんなのふっちゃん体操を周知し市民の健康増進を働きかけます。

(3) スポーツ・レクリエーションによるまちの活性化

◆スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実

スポーツ・レクリエーション活動へ積極的に参加する機会の充実を図るため、ふかやシティハーフマラソンなどの大規模なイベントを開催するほか、各種教室を実施しています。

また、小学生がスポーツをする環境づくりを推進するため、指導者を派遣するアスリートクラブ事業や、スポーツを始めるきっかけづくりの場として、色んなスポーツを体験できるイベント「ふっかちゃんジュニアスポーツフェスタ」を開催しています。

◆スポーツ・レクリエーション団体の活動支援

スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団など、地域において住民が運営するスポーツ・レクリエーション団体の活動を支援しています。

3. 令和7年度社会体育関係事業

主 な ス ポ ー ツ ・ レクリエーション教室	弓道教室、登山教室、ソフトテニス教室、卓球教室、テニス講習会、太極拳講習会、護身（少林寺拳法）教室、剣道教室、ソフトボール教室、スキー教室、吹矢体験教室、バドミントン講習会、ボールルームダンス講習会、レクリエーション指導者講習会、民謡講習会、フォークダンス講習会、太鼓指導教室、ふっかちゃんジュニアスポーツフェスタ、深谷アスリート教室（バレーボール・バドミントン・陸上・ソフトテニス・卓球・ソフトボール・少林寺拳法）等
主 な ス ポ ー ツ ・ レクリエーション大会	市民卓球大会、市民サッカー大会、市民バレーボール大会、市民ゴルフ大会、市民ソフトボール大会、市民クライミング大会、市民テニス大会、市民剣道大会、市民柔道大会、市民野球大会、市民バドミントン大会、市民水泳大会、市民弓道大会、市民少林寺拳法大会、市民太極拳大会、市民ソフトテニス大会、市民ソフトバレーボール大会、市民バスケットボール大会、市民ラグビーフットボール大会、市民スキー大会、市民空手道大会、市民スポーツウエルネス吹矢大会、市民ペタンク大会、室内ペタンク大会、市民グラウンド・ゴルフ大会、市民マラソン大会、歩け歩け大会、ボールルームダンス大会、市民民謡大会、市民フォークダンス大会、レクリエーションフェア、日本スリーデーマーチ、ふっかちゃんわくわく市民ウォーキング、ふかやシティハーフマラソン 等



4. 社会体育施設の概要

(1) 深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）



① 施設の概要

名 称 深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）
 電 話 ・ F A X （電話）048-572-3000 （FAX）048-572-3302
 所 在 地 深谷市上野台 2568 番地
 開 館 平成 5 年 11 月 1 日
 敷 地 面 積 20,158 m²
 延 床 面 積 12,731 m²
 施 設 規 模



- メインアリーナ：2,627.1 m²（63m×41.7m）
～バレーボール 3 面・バスケットボール 3 面・バドミントン 12 面～
- サブアリーナ：770 m²（35m×22m）
～バレーボール 1 面・バスケットボール 1 面・バドミントン 3 面～
- 武道場：830 m²（30m×18m）
～柔道場 353 m²・剣道場 306 m²・弓道場 210 m²～
- トレーニング室：416.5 m²
- 研修会議室：156 m²
- ランニングコース：1 周約 240m・幅約 2 m
- 卓球コーナー：93m²（卓球台 4 台）
- その他（更衣室・放送室・控室・記者室・ラウンジなど）

② 利用案内

休 館 日	年末年始（12月29日～1月3日）※ただし、臨時休館あり
開 館 時 間	9：00～22：00（日曜日は9：00～21：00）
受 付 時 間	8：30～20：00（ただし、日曜日は8：30～19：00）
利 用 許 可	・全面専用利用申請の場合、利用日の6ヶ月前から7日前まで ・個人利用は、当日利用券を購入（利用状況により個人利用できない場合あり）

(2) その他の社会体育施設一覧

施設名	所在地	施設の概要
深谷生涯学習センター・深谷公民館 体育室	仲町 20-2	アリーナ 720.09 m ² (バレーボール 2 面・ミニバス 2 面・ バドミントン 3 面)
明戸生涯学習センター・明戸公民館 体育室	蓮沼 258	アリーナ 901.7 m ² (バレーボール 2 面・ミニバス 2 面・ バドミントン 3 面)
上柴生涯学習センター・上柴公民館 体育室	上柴町西 4-2-14	アリーナ 885.79 m ² (バレーボール 2 面・ミニバス 2 面・ バドミントン 4 面)
豊里生涯学習センター・豊里公民館 体育室	新戒 639-1	アリーナ 728.31 m ² (バレーボール 2 面・ミニバス 2 面・ バドミントン 3 面)
南生涯学習センター・南公民館体育 室	宿根 645-1	アリーナ 661.2 m ² (バレーボール 2 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 2 面)
大寄生涯学習センター・大寄公民館 体育室	起会 84-1	アリーナ 672.18 m ² (バレーボール 1 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 3 面)
藤沢生涯学習センター・藤沢公民館 体育室	人見 1967-1	アリーナ 797.06 m ² (バレーボール 2 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 4 面・ミニバス 2 面)
幡羅生涯学習センター・幡羅公民館 体育室	東方 1370	アリーナ 875 m ² (バレーボール 2 面・ バドミントン 3 面)
花園生涯学習センター・花園公民館 体育室	小前田 2345-1	アリーナ 767 m ² (バレーボール 2 面、バドミントン 4 面・ ミニバス 2 面)
岡部生涯学習センター・岡部公民館 体育室	普済寺 1626-3	アリーナ 764 m ² (バレーボール 2 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 3 面)
八基生涯学習センター・八基公民館 体育室	下手計 1204	アリーナ 590.91 m ² (バレーボール 1 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 3 面)
川本生涯学習センター・川本公民館 体育室	菅沼 401	アリーナ 764.91 m ² (バレーボール 2 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 3 面)
仙元山公園	上野台 2565	多目的広場（南）8,443 m ² （北）14,000 m ² 野球場 8,150 m ² 人工芝テニスコート 6 面 クレーテニスコート 4 面 夜間照明あり（野球場、人工芝テニスコート 3 面） 陸上競技場 フィールド：トラック 1 周 400m×8 コース （全天候型） インフィールド：天然芝グラウンド 夜間照明あり
東公園	幡羅町 1-14-1	敷地面積 20,905 m ² 多目的広場面積 10,600 m ²

施設名	所在地	施設の概要
上柴中央公園	上柴町西 4-1-1	敷地面積 28,418 m ² 球場面積 10,040 m ² 夜間照明あり
利根川緑地公園(豊里グラウンド)	深谷市中瀬地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 17,347 m ²
利根川緑地公園(高島グラウンド)	深谷市高島地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 11,627 m ²
利根川緑地公園(中瀬ソフトボール場)	深谷市中瀬地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 25,728 m ²
柴崎公園	上柴町東 2-24-1	敷地面積 15,755 m ² 多目的広場面積 6,890 m ²
東方公園	東方町 2-23	敷地面積 16,374 m ² 多目的広場面積 7,360 m ² 夜間照明あり
明戸農村公園	上増田 1055-2	敷地面積 19,670 m ² 多目的広場面積 8,325 m ² 夜間照明あり
幡羅生涯学習センター・幡羅公民館 多目的広場	東方 1370	広場面積 2,272 m ²
折之口ふれあい公園	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² 多目的広場面積 5,200 m ² 人工芝テニスコート 2 面 1,480 m ²
北部運動公園	起会 162-1	敷地面積 35,592 m ² 多目的広場面積 6,935 m ² 野球場 1 面 10,336 m ² 夜間照明あり(野球場)
深谷小学校屋外運動場夜間照明施設	仲町 19-1	ソフトボール 2 面 照明面積 9,000 m ² A = 40 灯・B = 32 灯・平均 238LX
八基小学校屋外運動場夜間照明施設	下手計 1300	ソフトボール 1 面 照明面積 5,672 m ² 24 灯・102LX
深谷西小学校屋外運動場夜間照明施設	栄町 14-18	ソフトボール 1 面 照明面積 4,500 m ² 26 灯・160LX
常盤公園	常盤町 58-2	敷地面積 12,275 m ² クレーテニスコート 3 面 1,970 m ²
幡羅生涯学習センター・幡羅公民館テ ニスコート	東方 1370	ハードコート 2 面 1,666 m ²
仙元荘ゲートボール場	上野台 2547	敷地面積 3,300 m ² ゲートボール 4 面 1,200 m ²
すぱーく深谷	沼尻 484-1	敷地面積 4,453 m ² 建物面積 ・屋内ゲートボール場床面積 1,100.21 m ² ・クラブハウス床面積 79.86 m ² 屋内ゲートボール場 2 面 (全天候型・照明施設)

施設名	所在地	施設の概要
すぱーく岡部	後榛沢 972-1	敷地面積 10,832.80 m ² 建物面積 ・屋内ゲートボール場床面積 1,100.21 m ² ・クラブハウス床面積 79.86 m ² 屋内ゲートボール場 2 面（照明施設）
深谷グリーンパーク アクアパラダイス・パティオ	榎合 763	敷地面積 53,817 m ² 波のプール・渚プール・流れるプール こどもプール・スピニングスライダー（2 基） ウエットサウナ・ドライサウナ ジャグジー・競泳用 25m プール
中瀬グラウンド	中瀬 726-1	多目的広場 敷地面積 5,000 m ²
岡部中央グラウンド	山河 1-1	敷地面積 34,862 m ² （ナイター設備 2 基） 野球場 2 面、ソフトボール 4 面、サッカー 1 面
岡部東グラウンド	普済寺 63-1	敷地面積 12,580 m ² 野球場 1 面、ソフトボール 1 面
岡部中央公園	山河 1318	敷地面積 10,597 m ² 人工芝テニスコート 2 面 1,510.30 m ²
川本天神グラウンド	菅沼 1055	敷地面積 31,276 m ² 人工芝テニスコート 2 面、野球場 多目的グラウンド（サッカー等）
白草台運動公園	白草台 1565-3	敷地面積 48,583 m ² 野球場、ハードテニスコート 3 面 1,869 m ²
川本グラウンド・ゴルフ場	本田 501 番地先	敷地面積 40,000 m ² 芝コート 8 面、土コート
上本田グラウンド	本田 4892-1	敷地面積 18,038 m ² 野球場 1 面
植松グラウンド	本田 50 番地先	敷地面積 20,000 m ²
川本農業者トレーニングセンター	畠山 1577	敷地面積 3976.81 m ² （バスケットボール 2 面・バレーボール 2 面・ バドミントン 3 面） アリーナ 952.00 m ²
花園総合運動公園	小前田 2320-1	敷地面積 46,768 m ² 多目的広場 12,800 m ² 野球場 9,900 m ² テニスコート 2 面 1,592 m ² （人工芝ナイター設備あり） 夜間照明あり（テニス）
花園農業者トレーニングセンター	小前田 2299	アリーナ 936 m ² バスケットボール 2 面、バレーボール 2 面 バドミントン 3 面
花園水辺公園	小前田 396-11 （荒川河川敷）	全体面積 27,656 m ² 多目的広場 9,734 m ²

◆各施設の予約は「深谷市公共施設予約システム」からできます。（一部施設は除く）

深谷市公共施設予約システム

<http://www.city.fukaya.saitama.jp/shisetsu/yoyaku/1391748906315.html>



令和 7 年度教育要覧 深谷市の教育

発 行 深谷市教育委員会

〒 3 6 6 - 8 5 0 1

埼玉県深谷市仲町 1 1 番 1 号

T E L (0 4 8) 5 7 4 - 5 8 1 1 (代)

F A X (0 4 8) 5 7 4 - 1 7 4 4

U R L <http://www.city.fukaya.saitama.jp/>

E - m a i l kyouiku@city.fukaya.saitama.jp (教育委員会教育総務課)



深谷市誕生20周年